

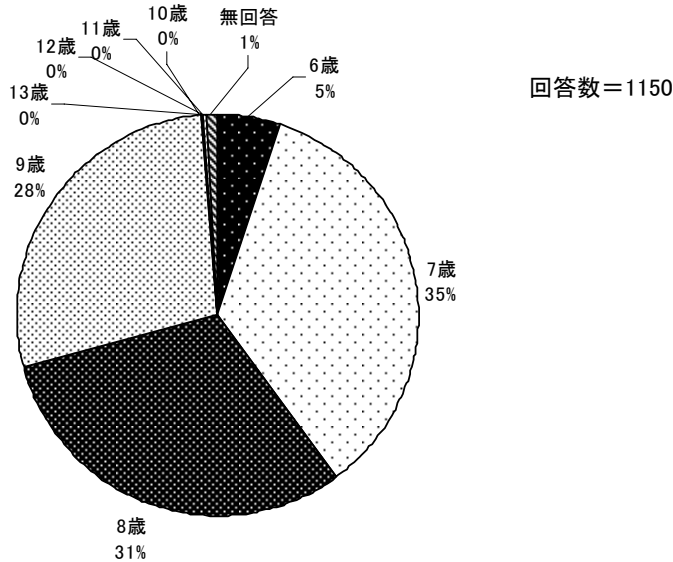
就学児童・抜粋

1 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 あて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	生まれ
----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	-----

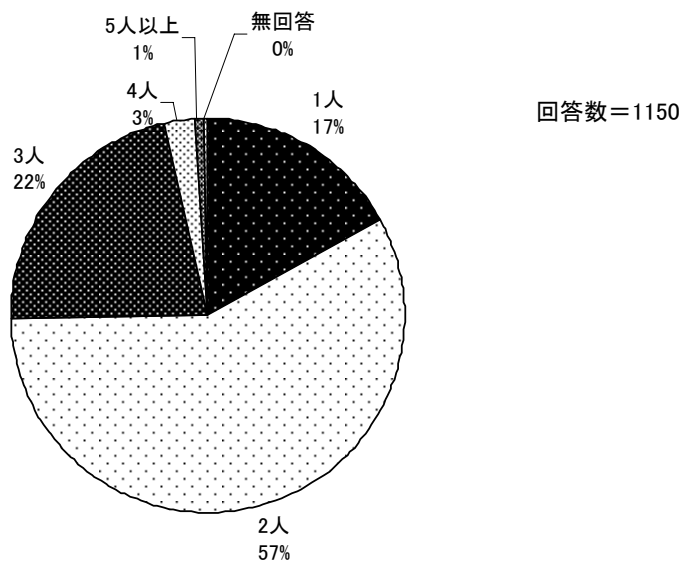
7歳・8歳・9歳とほぼ同じ割合で、30%程度となりました。



問2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成21年1月1日現在の年齢）をご記入下さい。

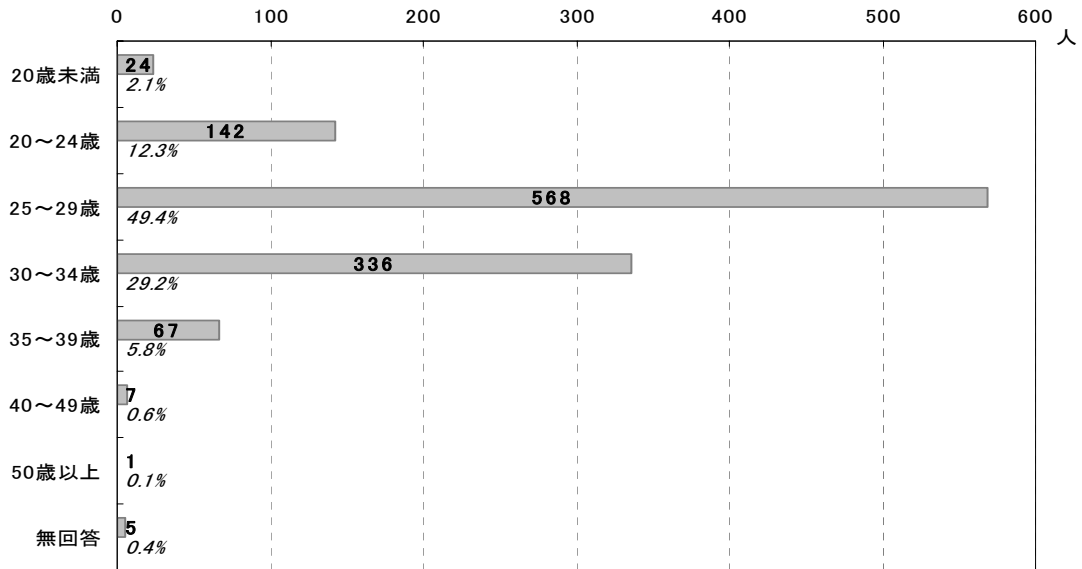
<input type="text"/>	人	末子の年齢	<input type="text"/>	歳
----------------------	---	-------	----------------------	---

2人が57%で過半数を占めましたが、4人と答えた人が実数で30人（3%）5人以上と答えた人が実数で9人（0.8%）いました。



問3 第一子を出産されたときの年齢を選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 | 4. 30～34歳 |
| 5. 35～39歳 | 6. 40～49歳 | 7. 50歳以上 | |

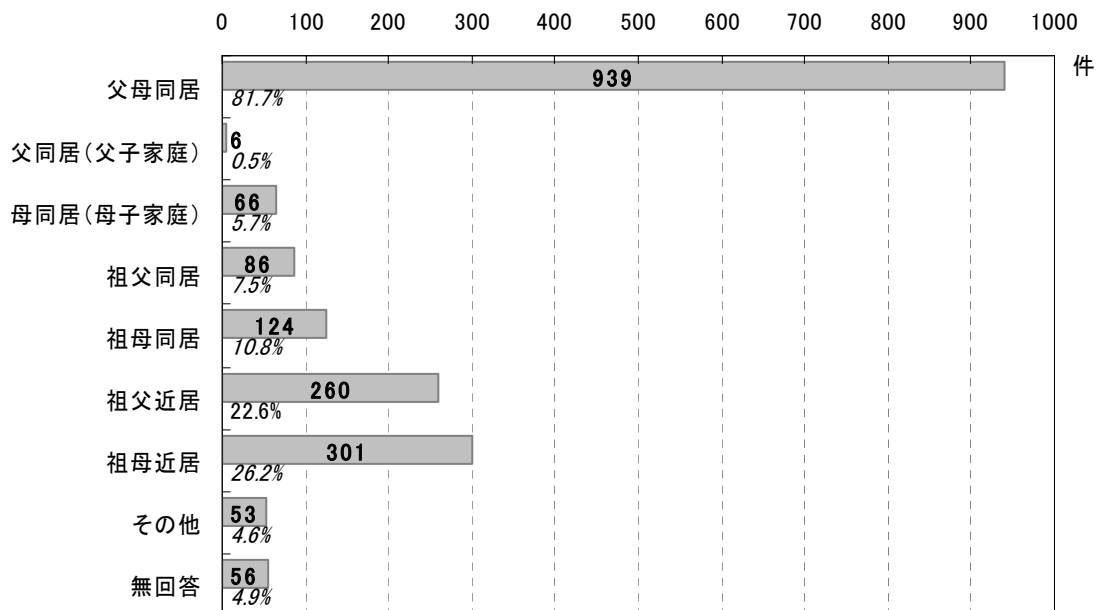


問4 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|----------------|----------------|---------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居(ひとり親家庭) | 3. 母同居(ひとり親家庭) | 4. 祖父同居 |
| 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 | 7. 祖母近居 | 8. その他 |

父母同居が圧倒的に多く、祖父母との同居よりは、近くに祖父母が住んでいるという人が多いようです。

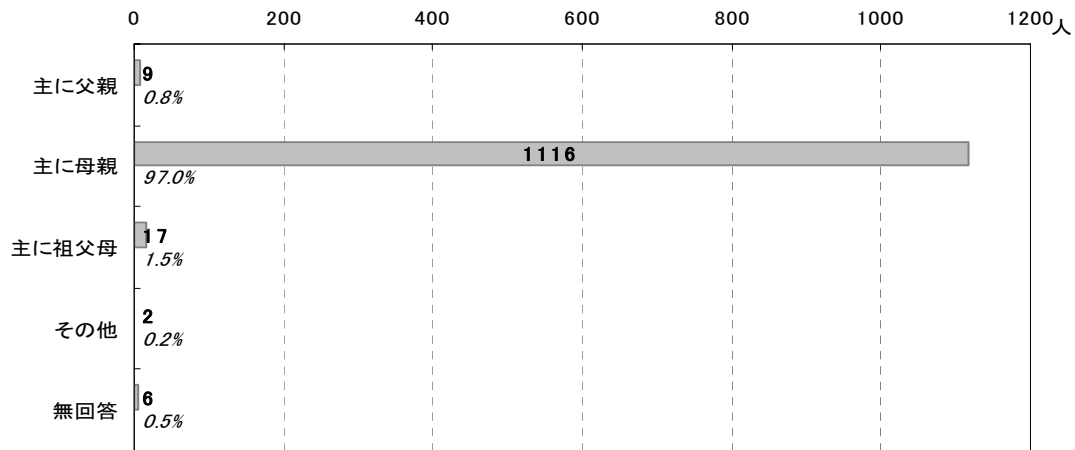
回答者数=1891



問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えに一つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他 |
|---------|---------|----------|--------|

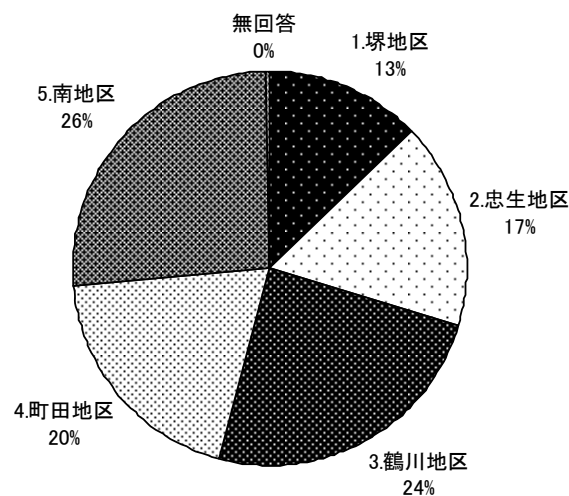
圧倒的に母親です。主にしているという聞き方では、このような答えになるのも当然かもしれません。



問6 お住まいの地区としてあてまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 堺地区（小山町、小山ヶ丘、相原町） 2. 忠生地区（図師町、山崎町、木曾西、木曾東、木曾町、根岸町、上小山田町、下小山田町、矢部町、常盤町、忠生、小山田桜台） 3. 鶴川地区（小野路町、野津田町、金井、金井町、大蔵町、真光寺、真光寺町、広袴、広袴町、能ヶ谷町、三輪町、鶴川、薬師台、三輪緑山） 4. 町田地区（原町田、中町、森野、旭町、玉川学園、本町田、南大谷、東玉川学園） 5. 南地区（金森、鶴間、小川、成瀬、高ヶ坂、つくし野、南つくし野、成瀬台、南成瀬、成瀬が丘） |
|--|

ほぼ平均的に分かれています。最も多いのは南地区の26%、次いで鶴川地区の24%となっています。



2 封筒のあて名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします。

問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親の就労状況【母子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
 → 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
 【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 : 〕（24時間表記）】

2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）

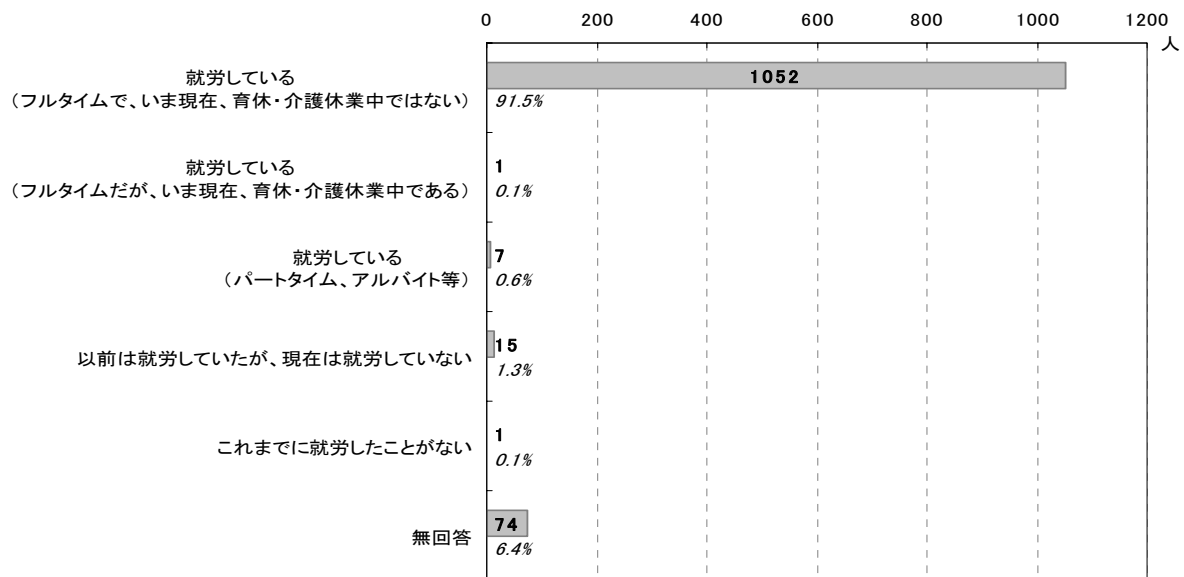
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
 → 就労時間についてお伺いします。
 【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 】【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない 】【

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない

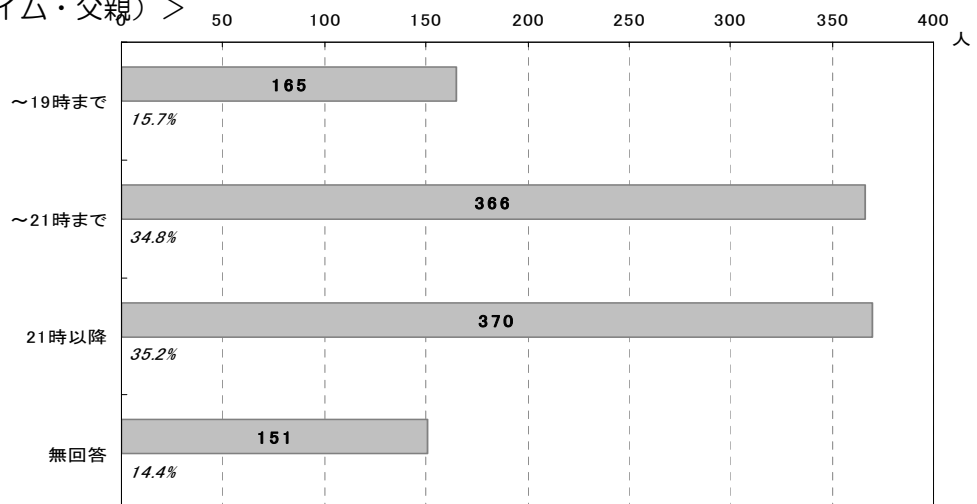
5. これまでに就労したことがない

<父親の就労状況>

フルタイム就労がほとんどですが、育休・介護休業中が1人、現在就労していない人は15人いました。



<帰宅時間（フルタイム・父親）>



父親の帰宅時間は、7割が19時以降で、21時まで(34.8%)より、21時以降(35.2%)の方が少し多くなっています。「ワーク・ライフバランス」と言われますが、働き方を変えていくことは、現実はなかなか難しいのではないのでしょうか。

(2) 母親の就労状況 【父子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している(フルタイム;産休・育休・介護休業中は含まない)
 → 1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。
 【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 : 〕(24時間表記)】

2. 就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)

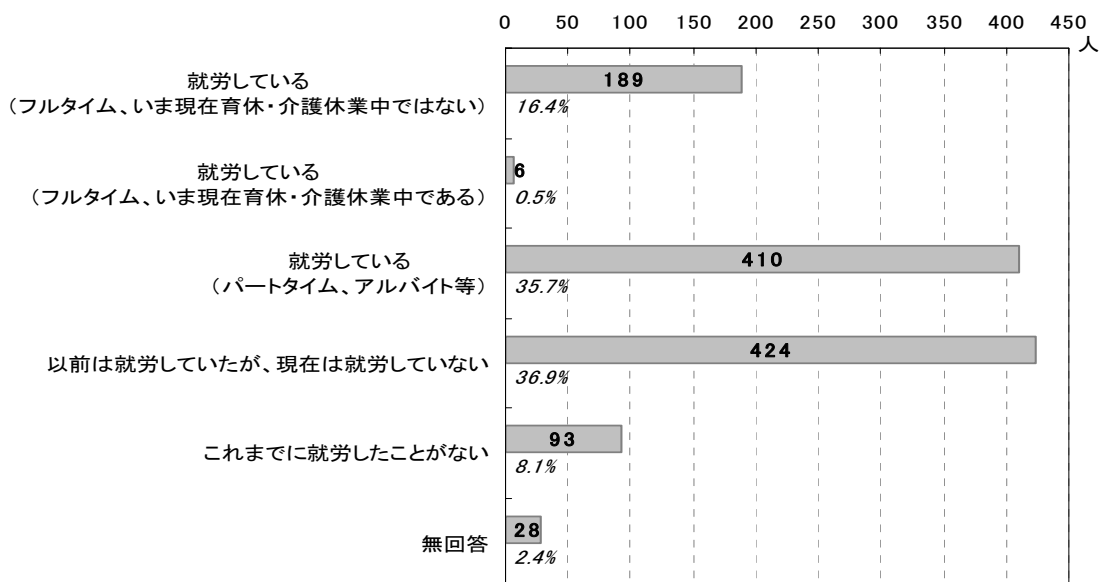
3. 就労している(パートタイム、アルバイト等)
 → 就労時間についてお伺いします。
 【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 】【
 → フルタイムへの転換希望がありますか。
 【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない 】【

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない

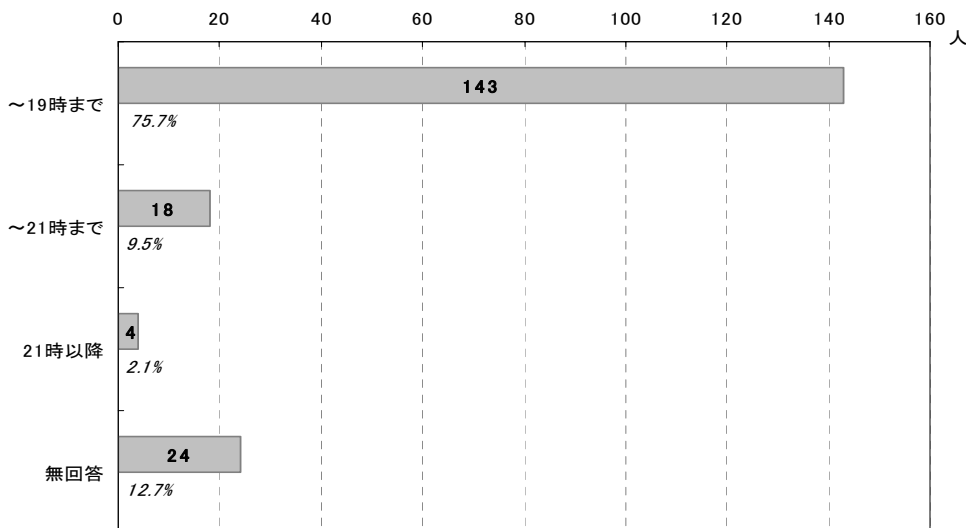
5. これまでに就労したことがない

<母親の就労状況>

フルタイムよりパートタイムやアルバイト等の就労(35.7%)が多く、現在は就労していない人も424人(36.9%)います。

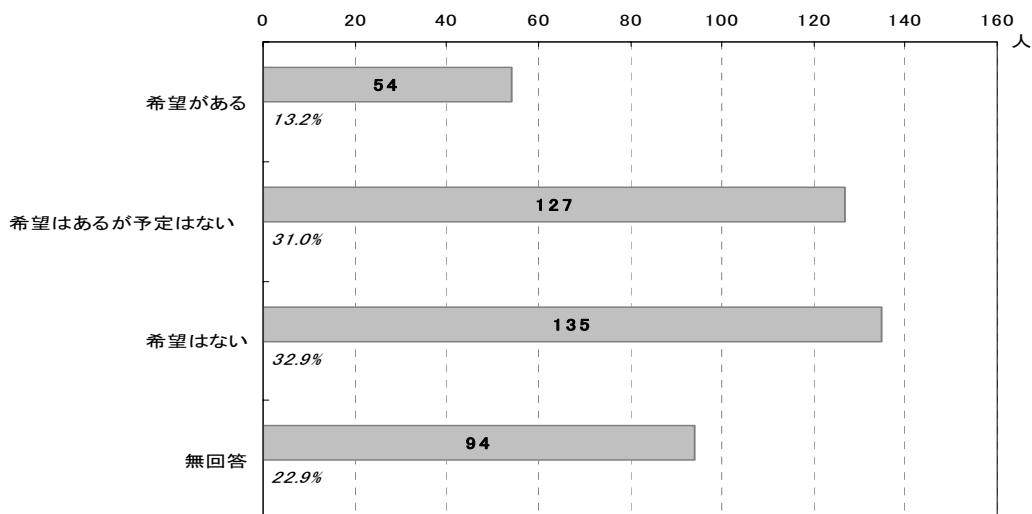


<帰宅時間(フルタイム・母親)>



＜フルタイムへの転換希望（パート・母親）

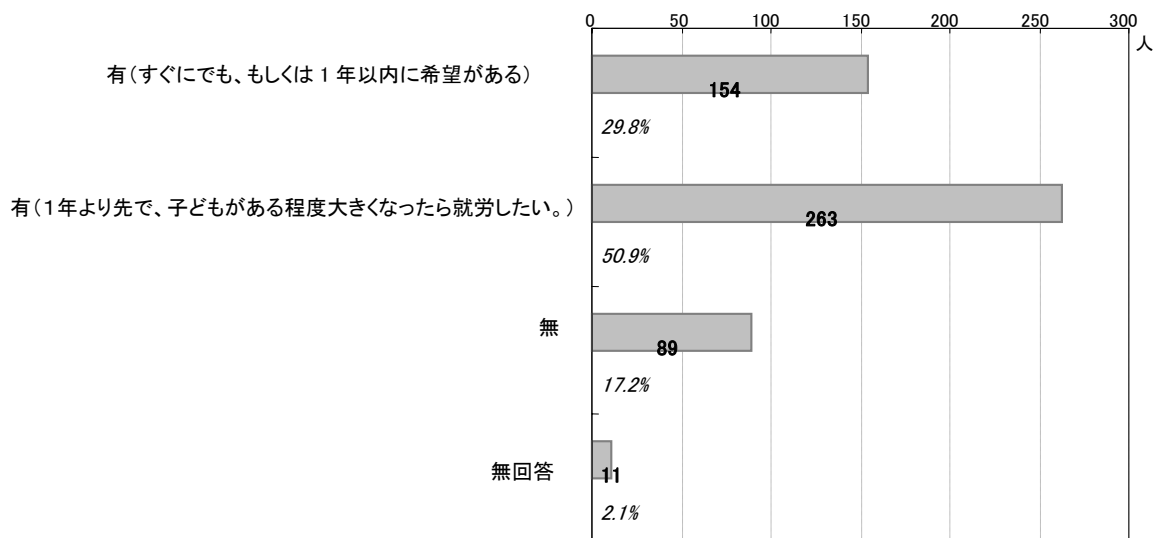
「希望がある」「希望はあるが予定はない」を合わせると約44%の人が、フルタイムに転換したいと考えているようです。



問8 母親の就労希望はありますか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 1. 有（すぐにももしくは1年以内に希望がある） | （→ 問8-1,8-2へ） |
| 2. 有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい） | （→ 問8-1～8-3へ） |
| 3. 無 | （→ 問9へ） |

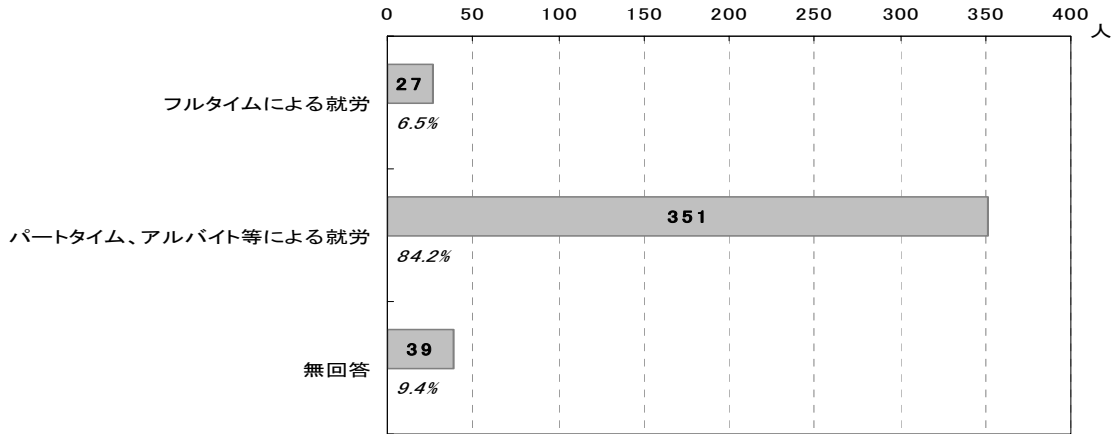
子どもがある程度大きくなったら就労したいと考えている人は50.9%、すぐにも、もしくは1年以内に希望がある人は29.8%でした。



問8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。（パートタイム、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

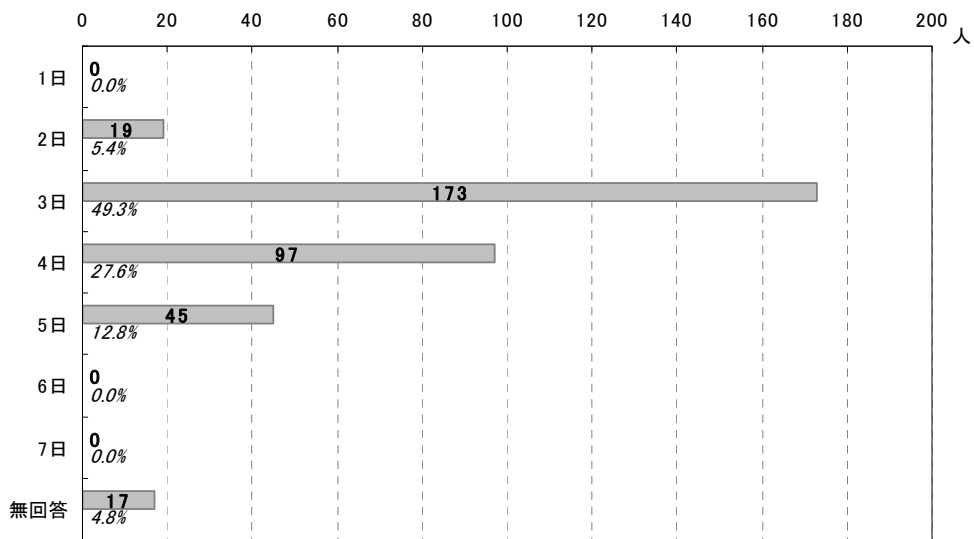
- | |
|---|
| 1. フルタイムによる就労 |
| 2. パートタイム、アルバイト等による就労（1週当たり〔 〕日・1日当たり〔 〕時間） |

フルタイムによる就労を希望している人は、6.5%、就学前児童の保護者アンケートでは11.0%でした。パート・アルバイトによる就労希望は84.2%でしたが、就学前児童の保護者では、78.8%でした。子どもの年齢によっても就労希望にも多少違いがあるようです。



<希望する就労日数（母親）>

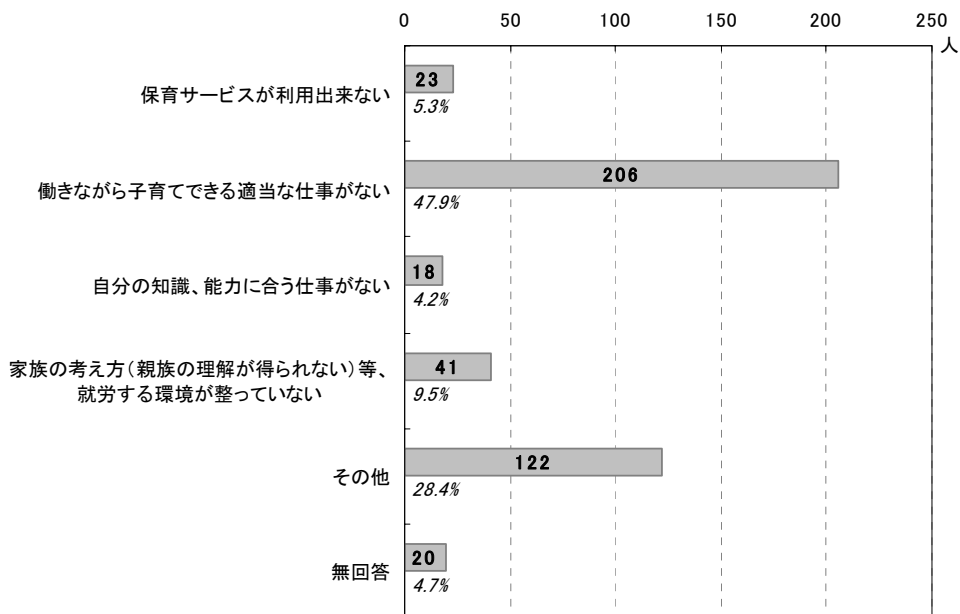
週3日～4日を希望する人が合わせて76.9%でした。



問8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に一つだけ○をつけてください。

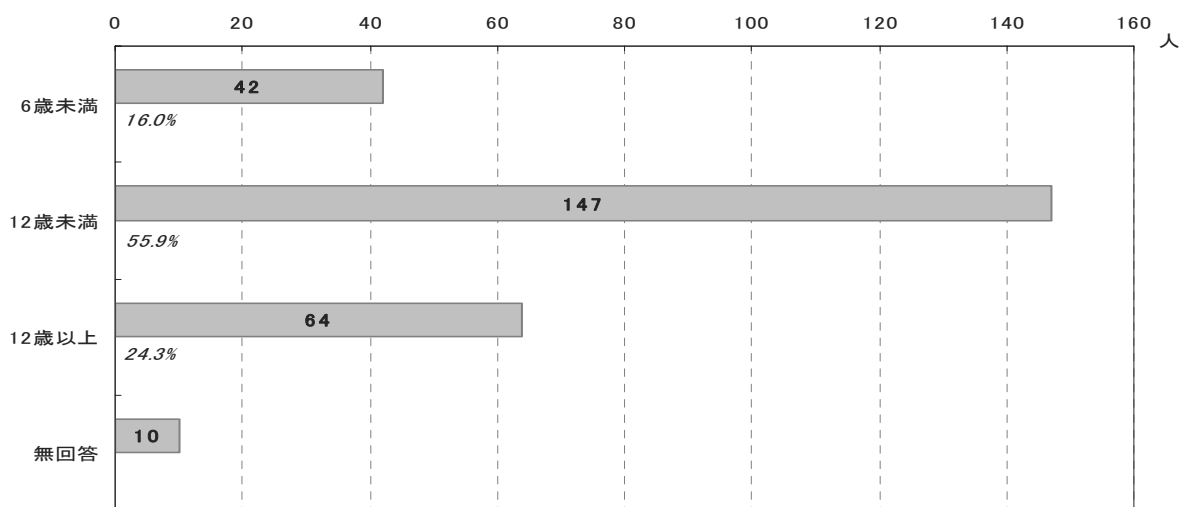
- | |
|--------------------------------------|
| 1. 保育サービス（*）が利用できない |
| 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない |
| 3. 自分の知識、能力にあう仕事がない |
| 4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない |
| 5. その他（ ） |

希望がありながら働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」と答えた人が半数近く（47.9%）いました。



問8-3 あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

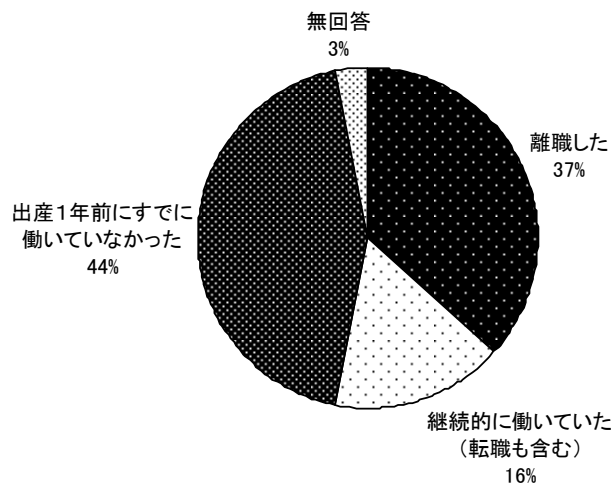
歳になったとき



問9 あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。あてはまる番号に一つだけQをつけてください。

1. 離職した	(→ 問9-1、9-2へ)
2. 継続的に働いていた（転職も含む）	(→ 問10へ)
3. 出産1年前にすでに働いていなかった	(→ 問10へ)

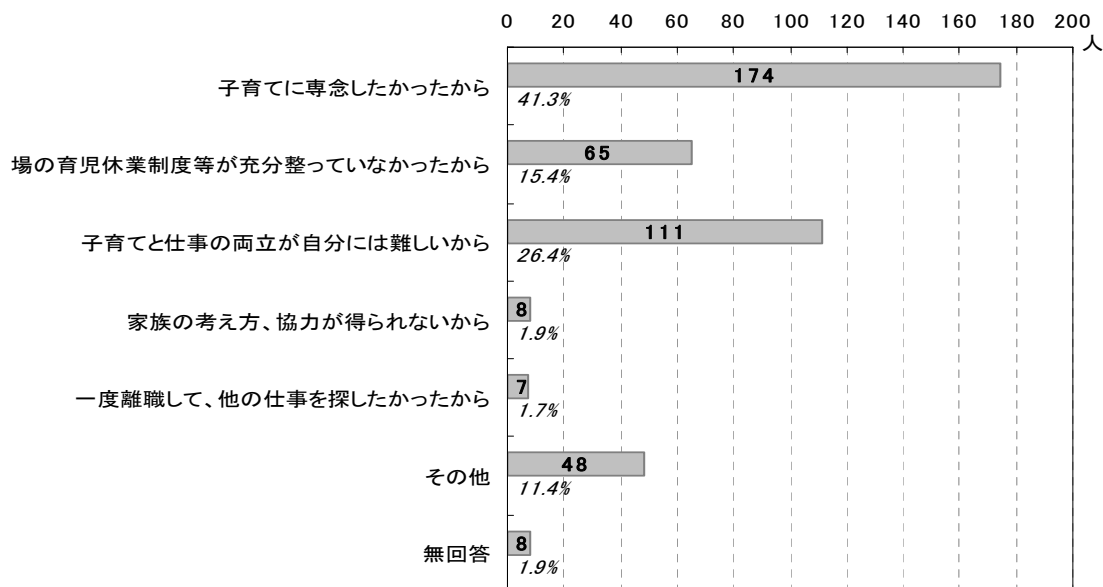
出産前後に、離職（37%）あるいはすでに働いていなかった（44%）人を合わせると81%になります。継続的に働いていた人は全体の16%となっています。



問9-1 離職した理由は何ですか。あなたのお考えにもっとも近い答えの番号に一つだけ○をつけてください。

1. 子育てに専念したかったから
2. 職場において育児休業制度等が充分整っていなかったから
3. 子育てと仕事の両立が自分には難しいと思ったから
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)、協力が得られないから
5. 一度離職して、他の仕事を探したかったから
6. その他 ()

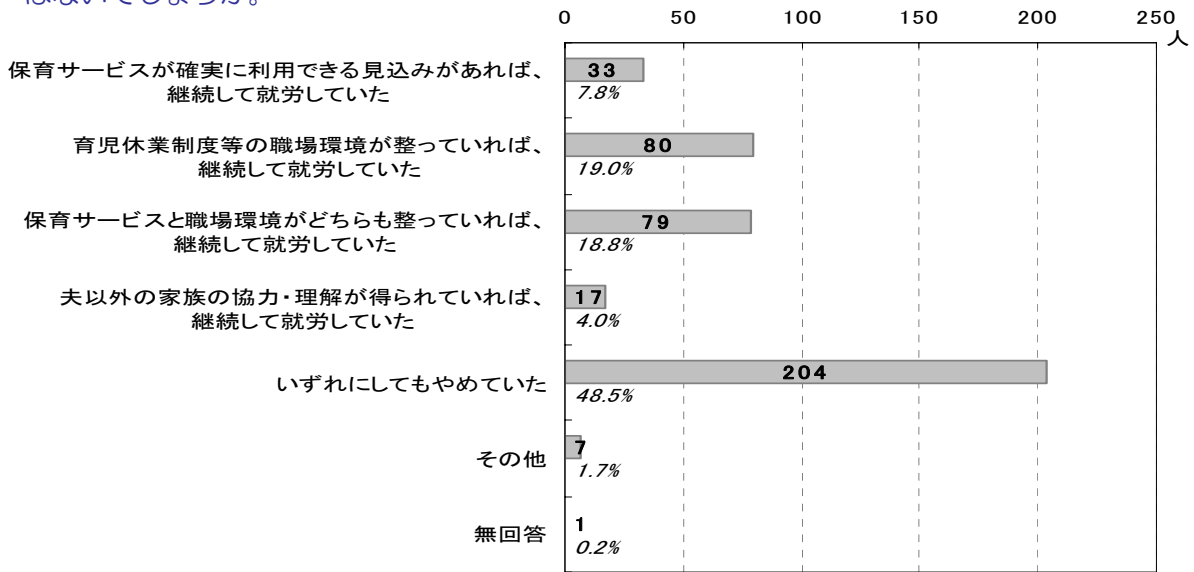
「子育てに専念したかったから」という理由が最も多く(41.3%)、次いで「子育てと仕事の両立が自分には難しいから」(26.4%)、「職場の育児休業制度等が充分整っていなかったから」(15.4%)と続きます。



問9-2 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号に○をつけてください。

1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていれば、継続して就労していた
5. いずれにしてもやめていた
6. その他()

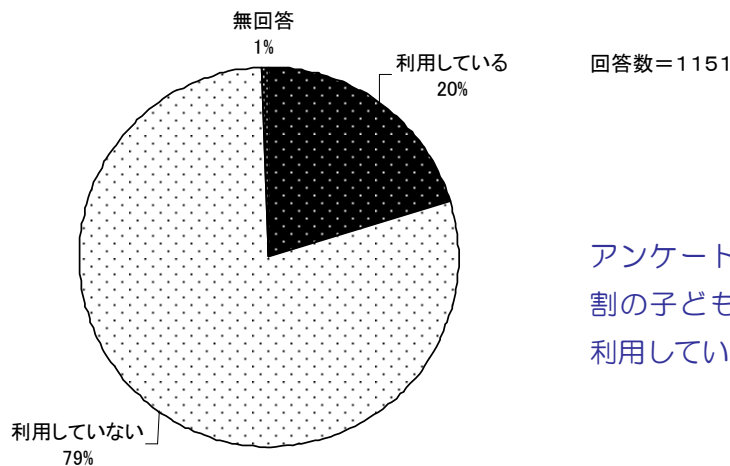
就労を継続したかもしれない条件としては、育児休業等の職場環境(19.0%)や保育サービスと職場環境のどちらも(18.8%)となっていますが、最も多いのは「いずれにしてもやめていた」(48.5%)という回答です。条件が整えば就労を継続するとは、一概には言えないのではないのでしょうか。



3 封筒のあて名のお子さんの 学童保育クラブの利用についてお伺いします。

問10 あて名のお子さんの現在の保育サービス(P2の定義参照)の利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していらっしゃいますか。あてはまる番号に○をつけてください。

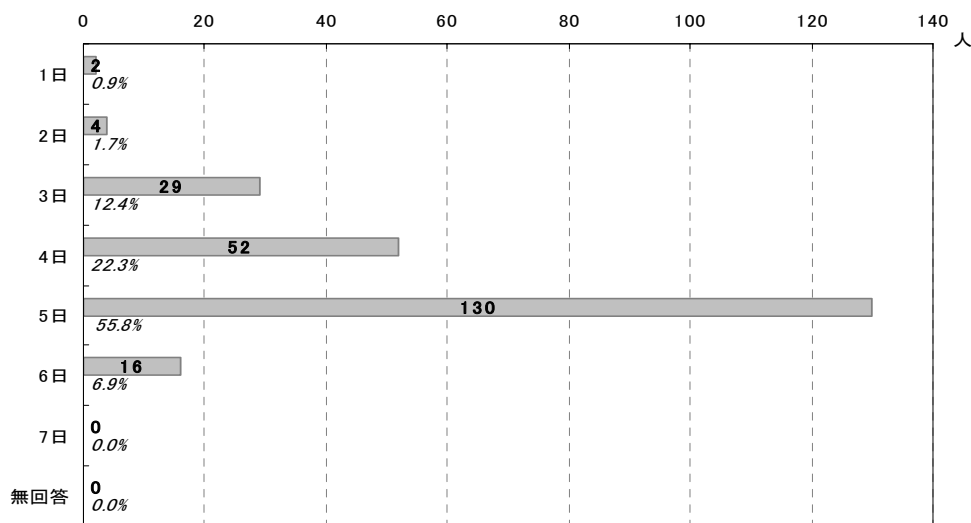
1. 利用している (→ 問10-1~10-3へ)
2. 利用していない (→ 問10-4へ)



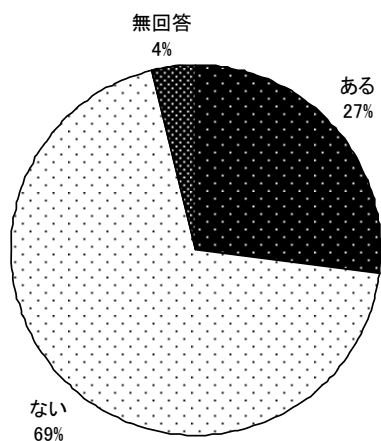
アンケートに回答した人の約2割の子どもが学童保育クラブを利用しています。

問10-1 問10で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。あて名のお子さんの学童保育クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる理由について、あてはまる答えの番号に一つだけ○をつけてください。

週	<input type="text"/>	日くらい	→	{	うち土曜日の利用	1. ある
						2. ない



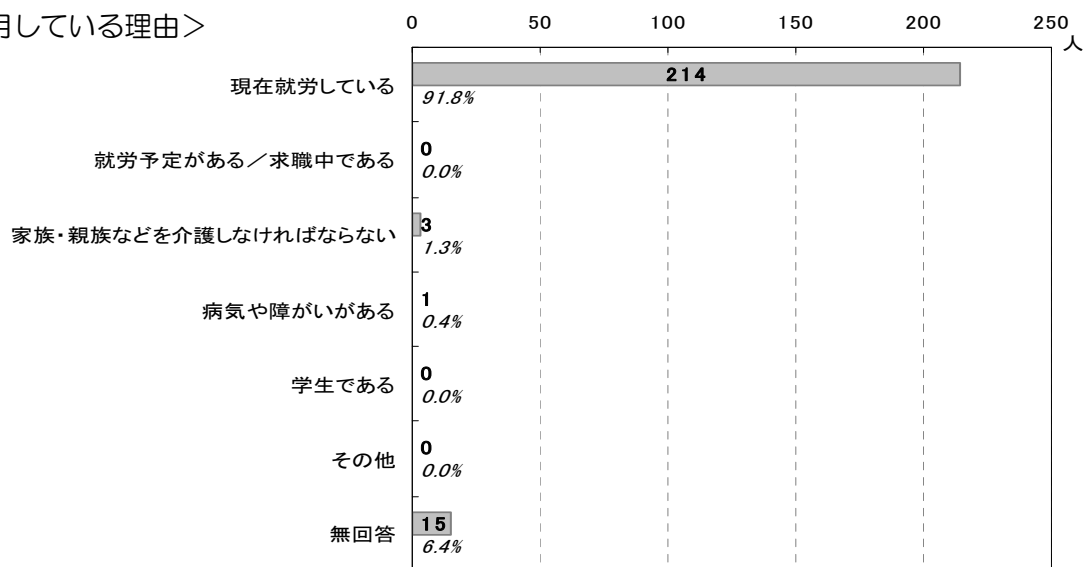
<土曜日の利用>



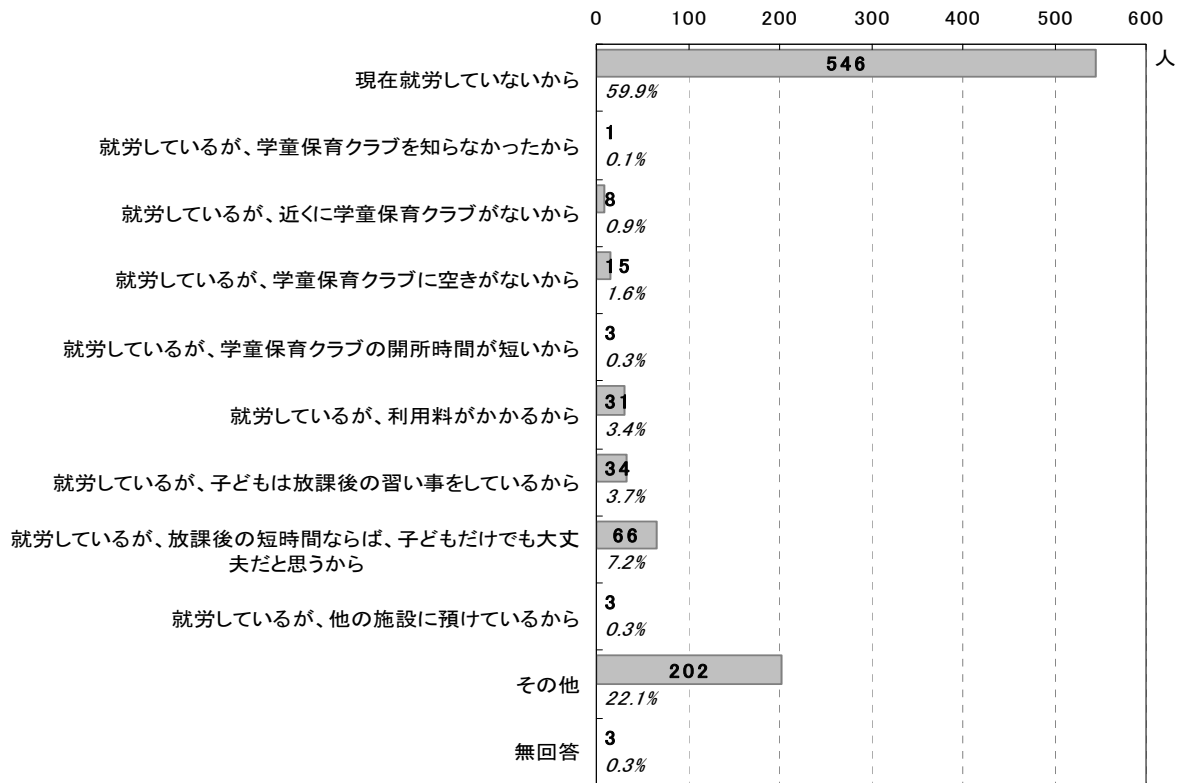
回答数=233

学童保育クラブを利用している233人のうちの27%が、土曜日にも利用しています。

<利用している理由>

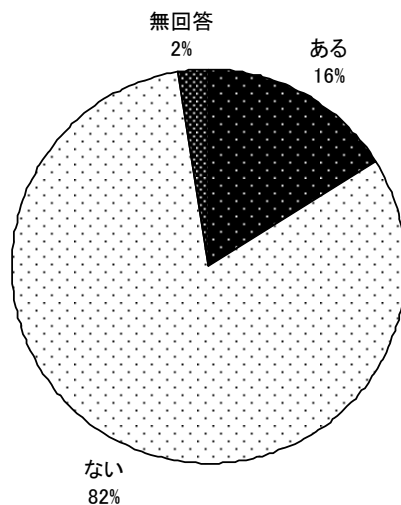


問10-2 問10で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。利用していない理由について、もっともあてはまる番号に一つだけQをつけてください。



問10-3 問10で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。あて名のお子さんについて、今後、学童保育クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる番号にQをつけてください。

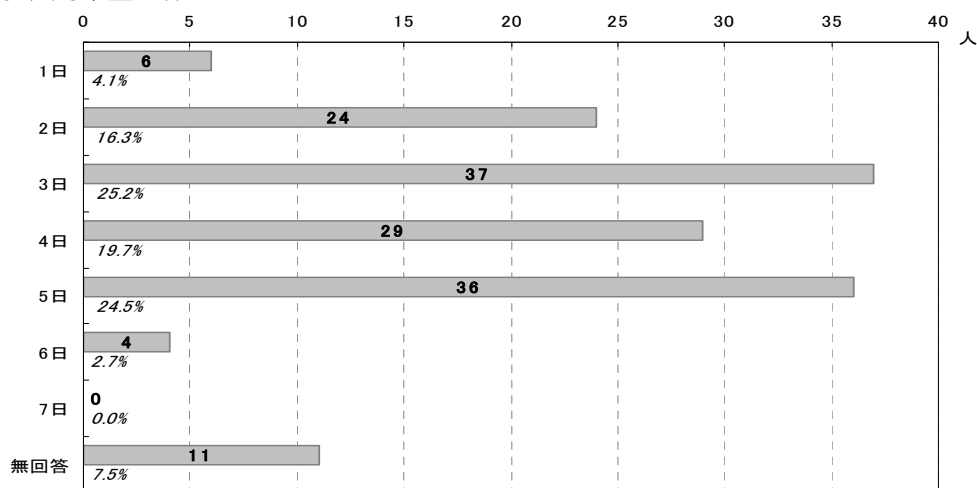
1. 利用したい → (問10-4へ)	週	<input type="text"/>	日くらい	うち土・日の利用希望	1. ある
2. 今後も利用しない (問10-5へ)					2. ない



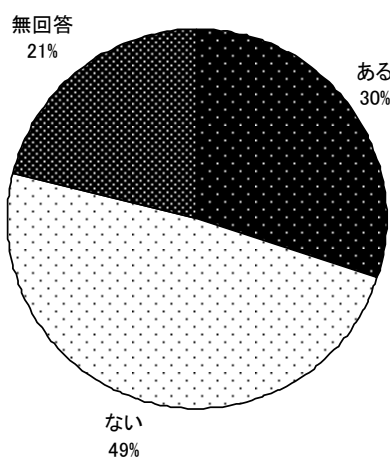
回答数=912

学童保育クラブを利用していない人のうちの16%が、今後利用したいと考えています。

<週あたり利用希望日数>



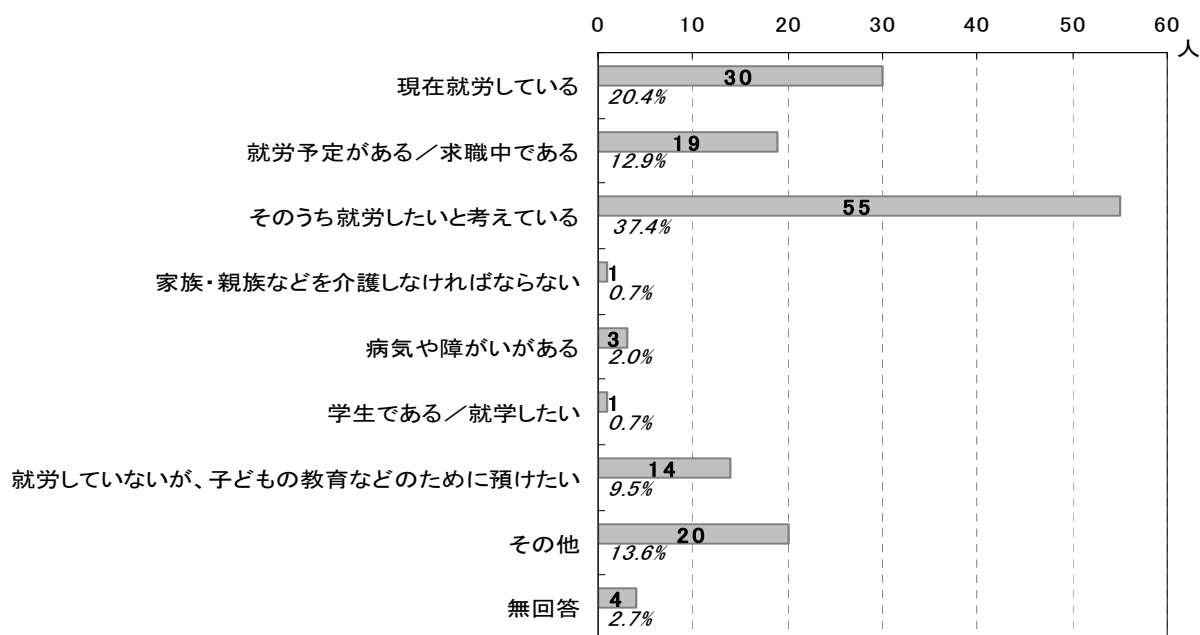
<土日の利用希望>



回答数=147

今後学童保育クラブを利用したいと答えた人のうちの30%が、土日も利用したいと考えています。

問10-4 今後学童保育クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に一つだけ○をつけてください。



問10-5 地域によっては、すべての子どもを対象とした『地域子ども教室』がありますが、あて名のお子さんは利用したことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。【町田市では現在7ヶ所で実施しています。】

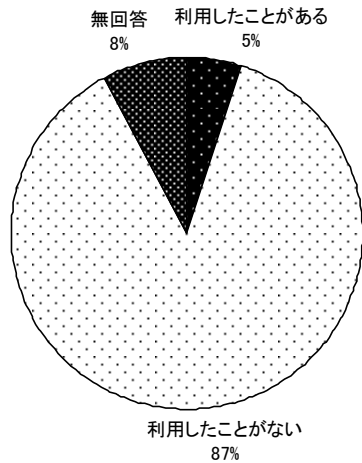
1. 利用したことがある → 週 日くらい

2. 利用したことがない

＜その理由＞ ①地域子ども教室を知らない

②地域（自宅の近く）に地域子ども教室がない

③その他（ ）

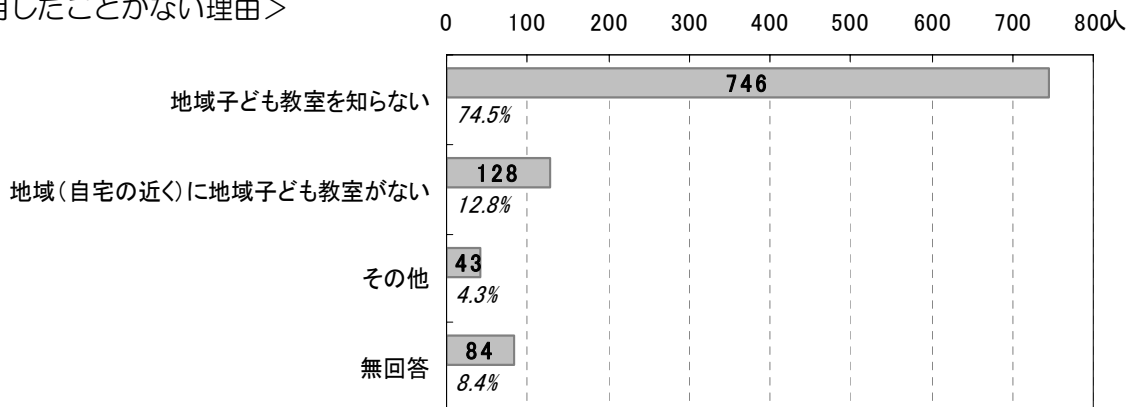


回答数=1150

地域子ども教室を利用したことがあるのは、5%の58人でした。

利用したことがない理由は、「知らない」が最も多く74.5%でした。今後もっと皆様にお知らせしなければいけない事業のひとつです。

＜利用したことがない理由＞



問11 あて名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。もっともお考えに近い番号に一つだけ○をつけてください。

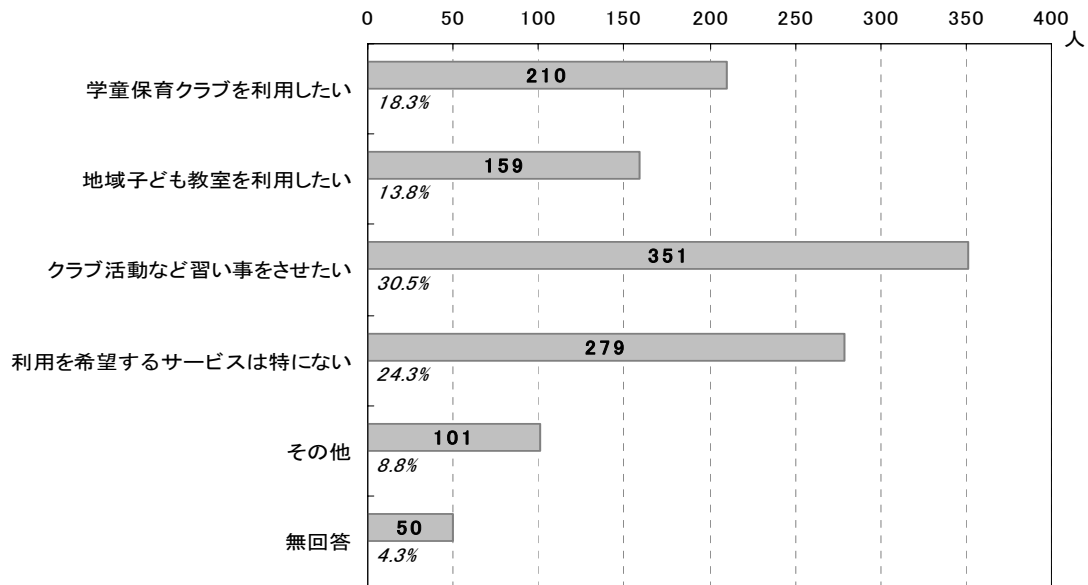
1. 学童保育クラブを利用したい
 (1.を選ばれた方) → 小学 年生まで利用したい

2. 地域子ども教室を利用したい

3. クラブ活動など習い事をさせたい

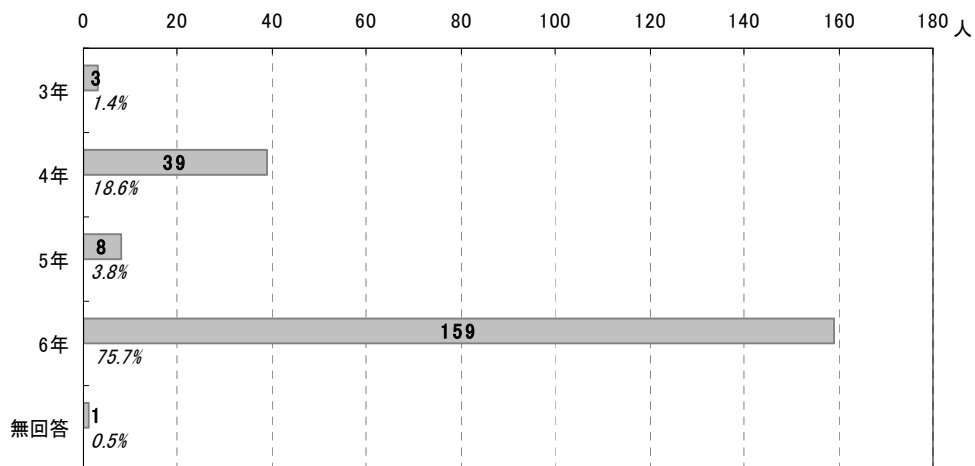
4. 利用を希望するサービスは特にない

5. その他（ ）



<利用したい年限（何年生まで）>

回答数=210

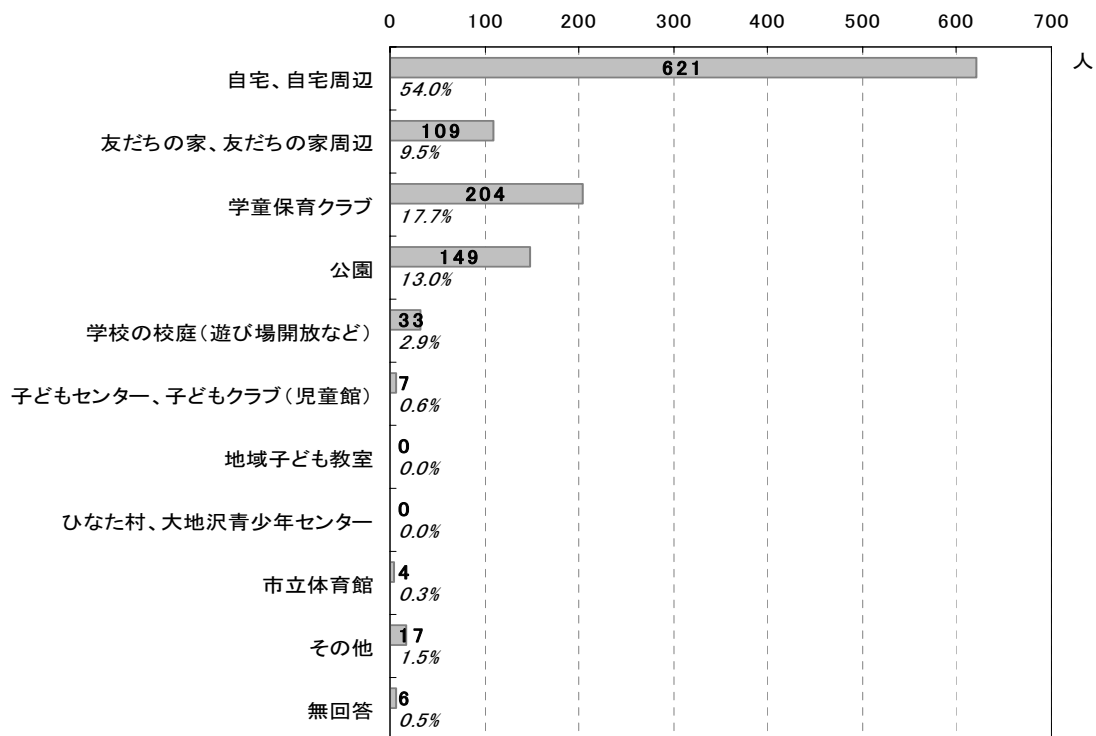


4年生以降の放課後の過ごし方については、「クラブ活動などの習い事をさせたい」と答えた人が30.5%、「利用を希望するサービスは特にない」と答えた人が24.3%でした。

学童保育の利用を望む人は18.3%であり、そのうち6年生まで利用したいと考える人は、75.7%でした。

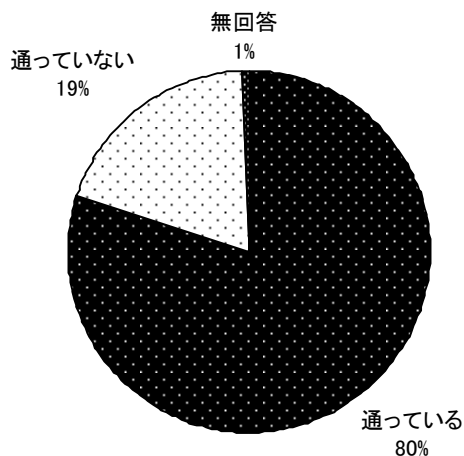
4 封筒のあて名のお子さんの放課後や休日の過ごし方についてお伺いします。

問12 あて名のお子さんは、学校のある日の放課後、どこで遊んでいますか。次の中からもっとも多いと思われる番号に一つだけ○をつけてください。



半数以上の子どもが放課後は、自宅および自宅周辺で過ごしていることがわかります。学童保育クラブは17.7%、公園は13.0%でした。

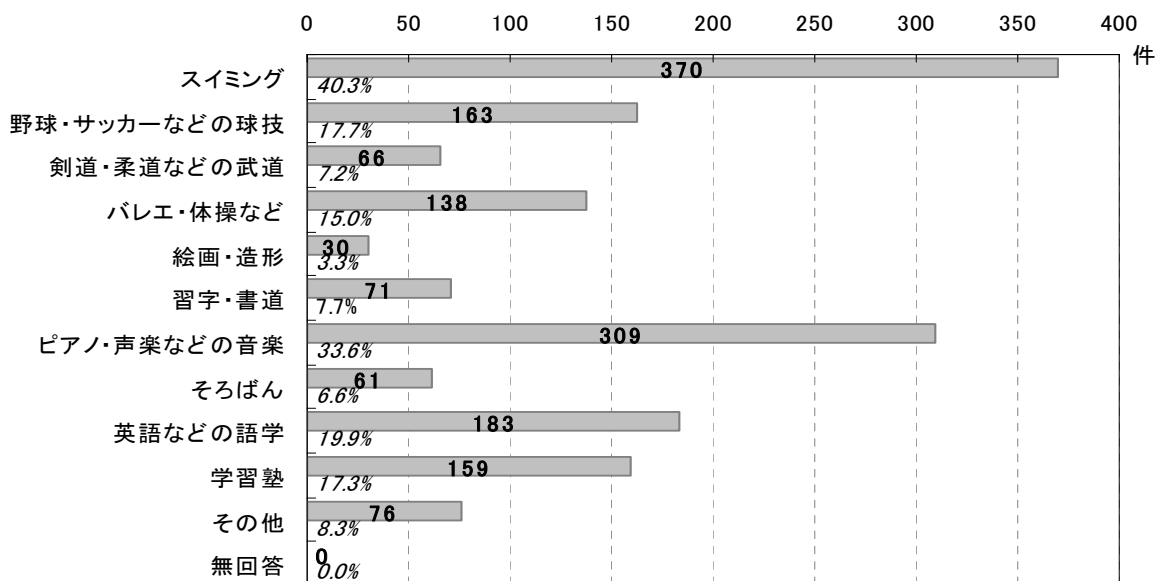
問13 あて名のお子さんは、学校のある日の放課後、習い事、学習塾、スポーツクラブなどに継続的に通っていますか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。



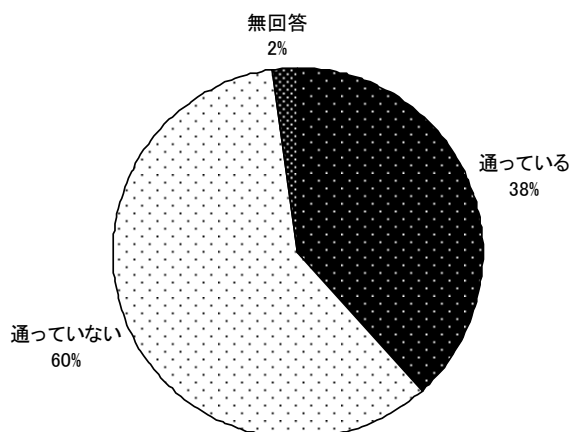
8割の小学生が、学校のある日の放課後、習い事やスポーツクラブに通っていることがわかります。習い事の種類は、スイミングが最も多く、ピアノ、英語などの語学、野球・サッカーと続きます。学習塾は17.3%となっています。

<習い事の種類>

回答者数=1626



問14 あて名のお子さんは、土曜日や日曜日などの休日に、習い事、学習塾、スポーツクラブなどに継続的に通っていますか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

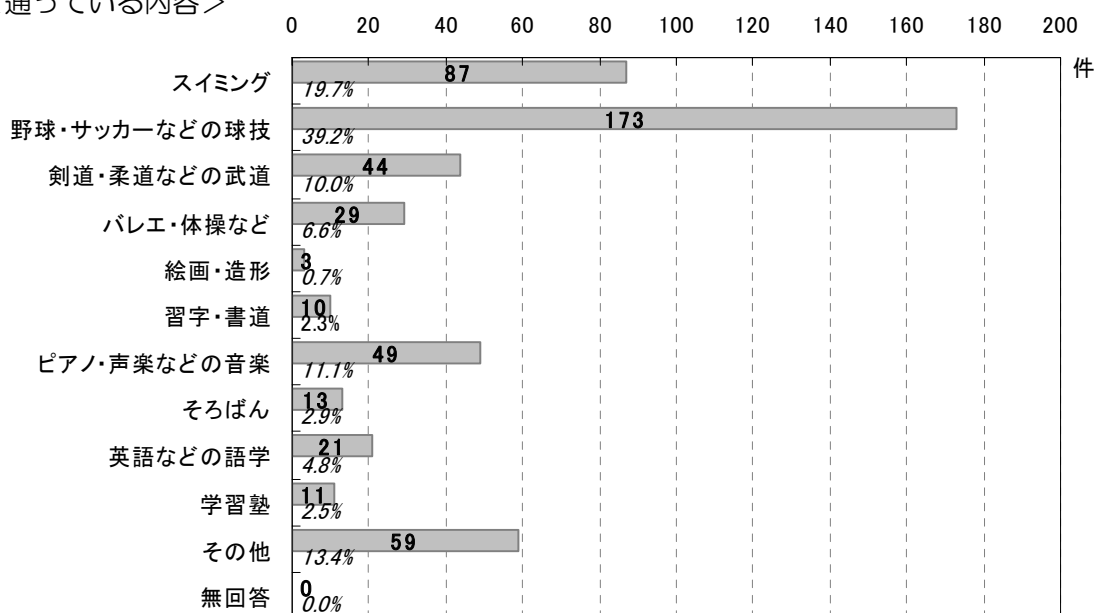


平日の放課後は習い事に通っている子どもが8割いましたが、土日は4割弱に減っています。

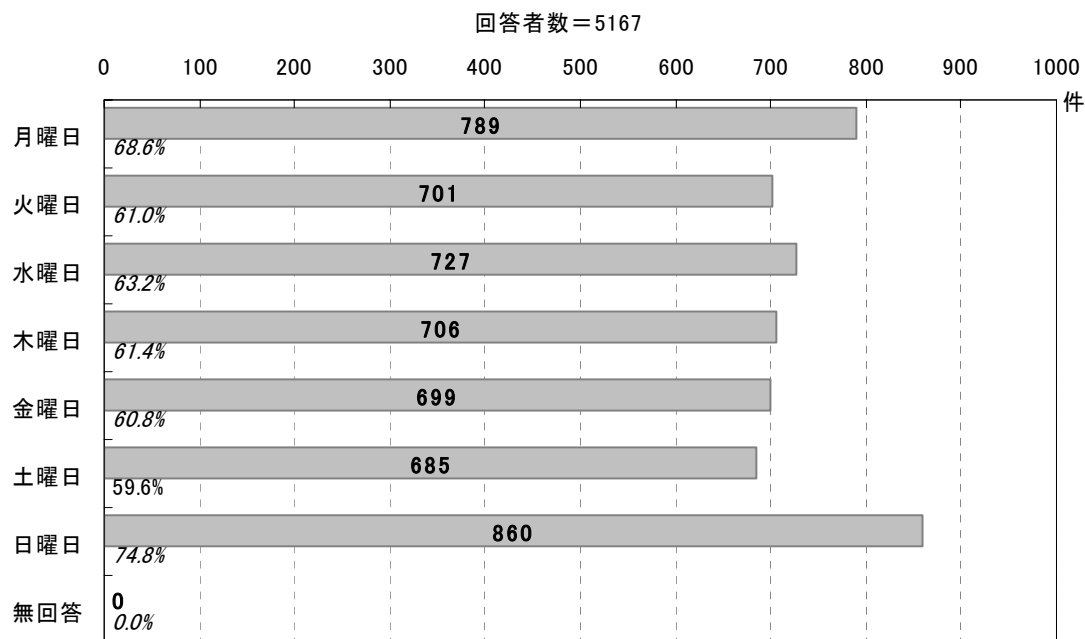
最も多いのは、野球・サッカーなどの球技でした。

<通っている内容>

回答者数=499

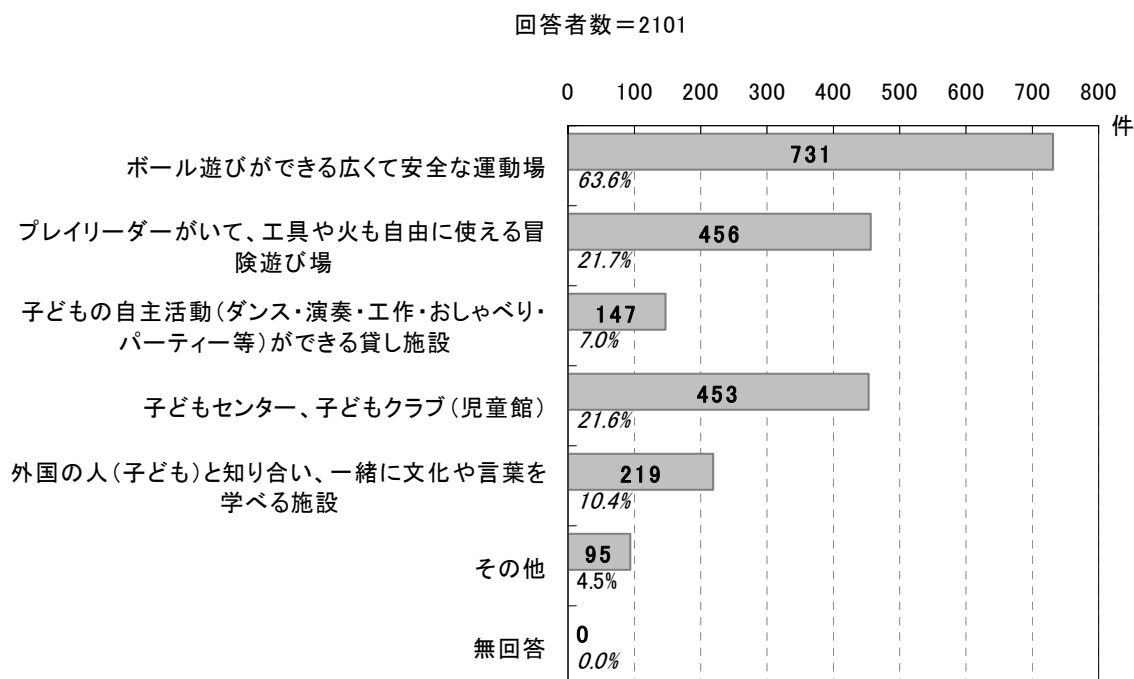


問15 あて名のお子さんが、塾や習い事等何も予定がない日は何曜日ですか。あてはまる番号にいくつでもをつけてください。



月曜日と日曜日に何も予定がないと答えた人が多くなっています。

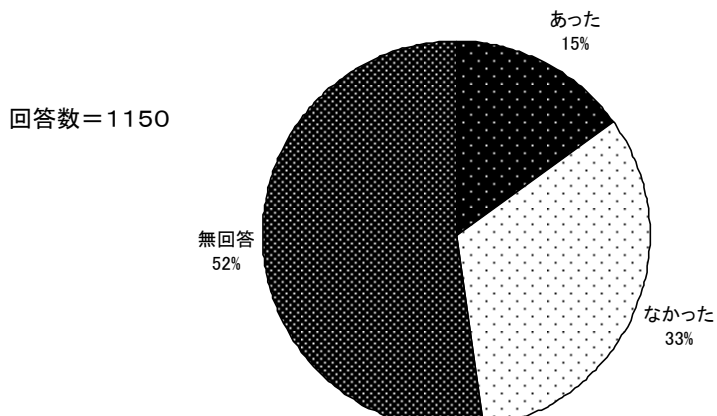
問16 あなたは、町田市内に子どもにとってどんな遊び場・施設があればいい（必要だ）と思いますか。次の中から2つ選んで○をつけてください。



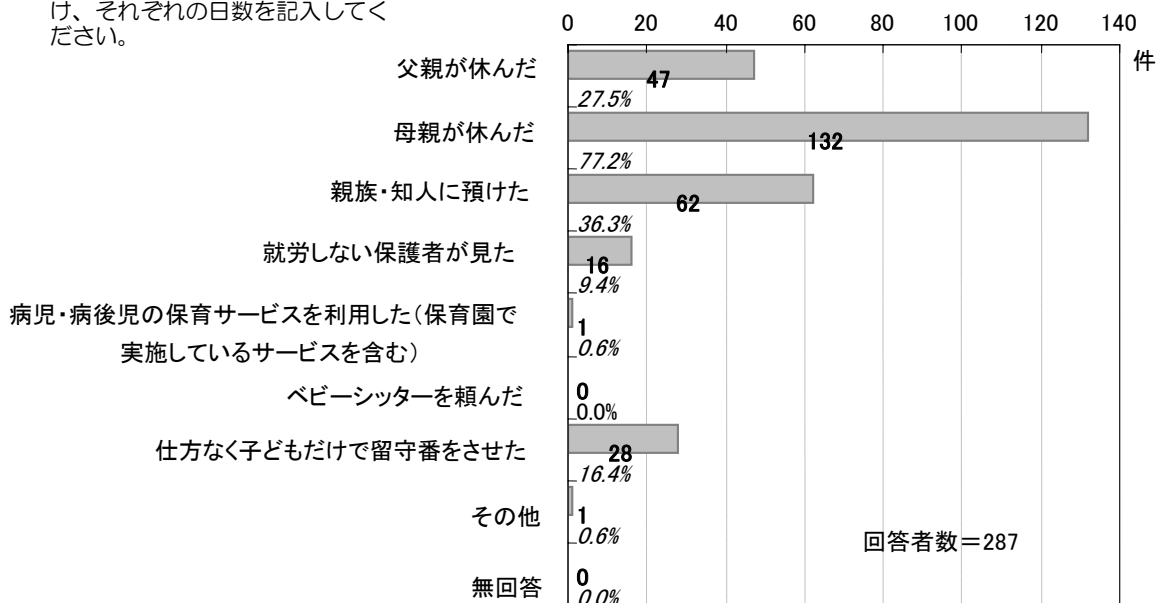
「ボール遊びができる広くて安全な運動場」(63.6%)が最も多いという結果になりました。冒険遊び場(21.7%)や子どもセンター・子どもクラブ(21.6%)も次に多くなっています。安心・安全な遊び場が求められているのでしょう。

5 封筒のあて名のお子さんの病児・病後児保育（*下部参照）についてお伺いします。

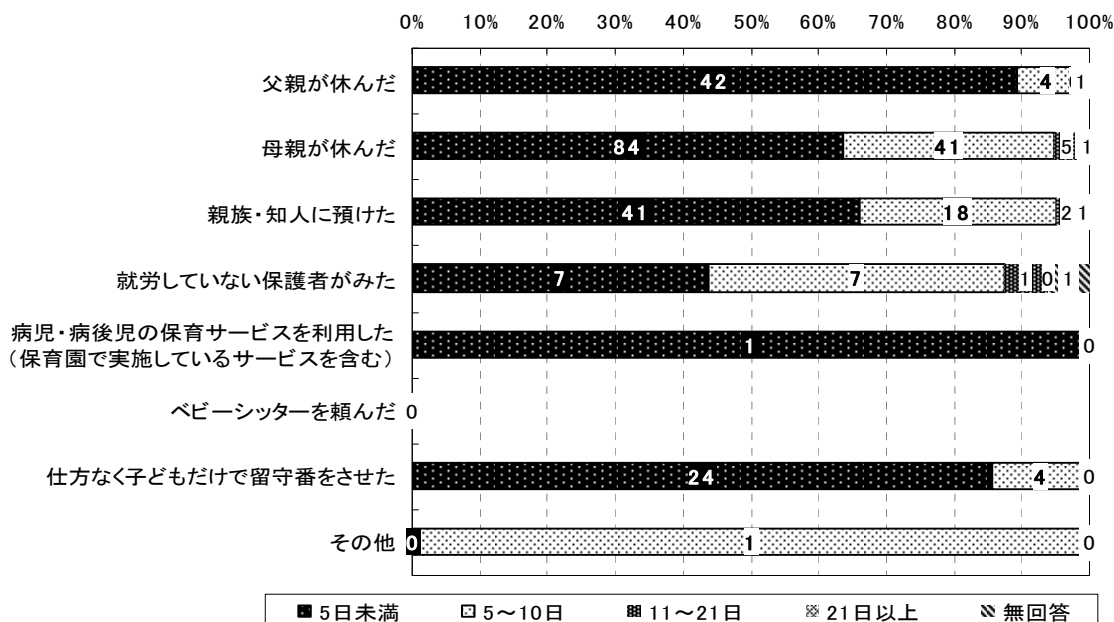
問17 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことはありますか。



問17-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。



<対処方法と日数>



6. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの一時預かりについてお伺いします。

問18 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

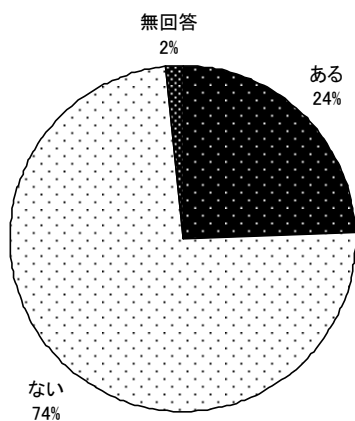
1. ある → 年間 日

(理由別)

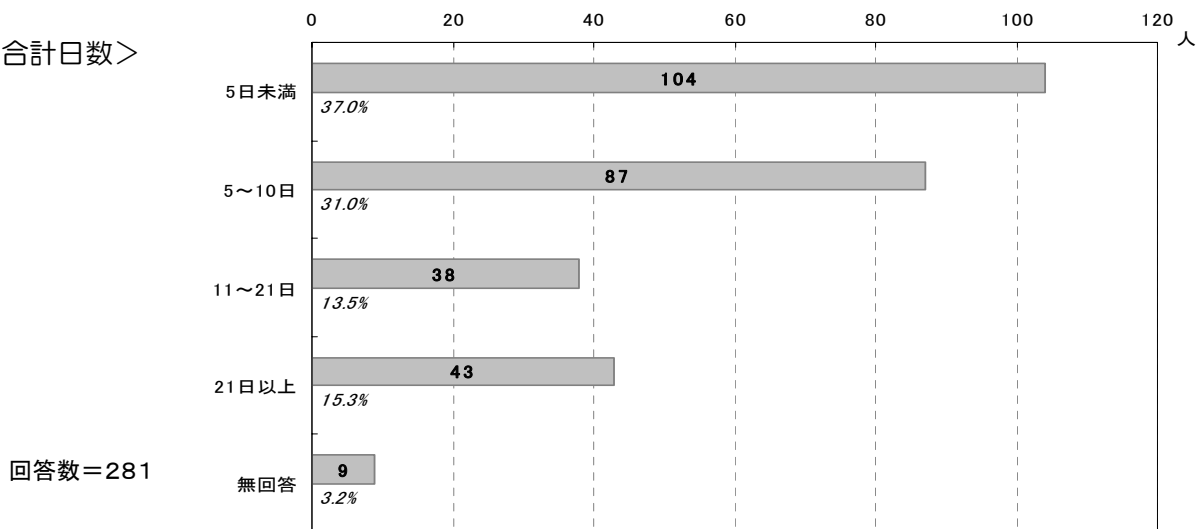
- ① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的
- ② 冠婚葬祭、子どもの親の病気
- ③ 就労

<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

2. ない

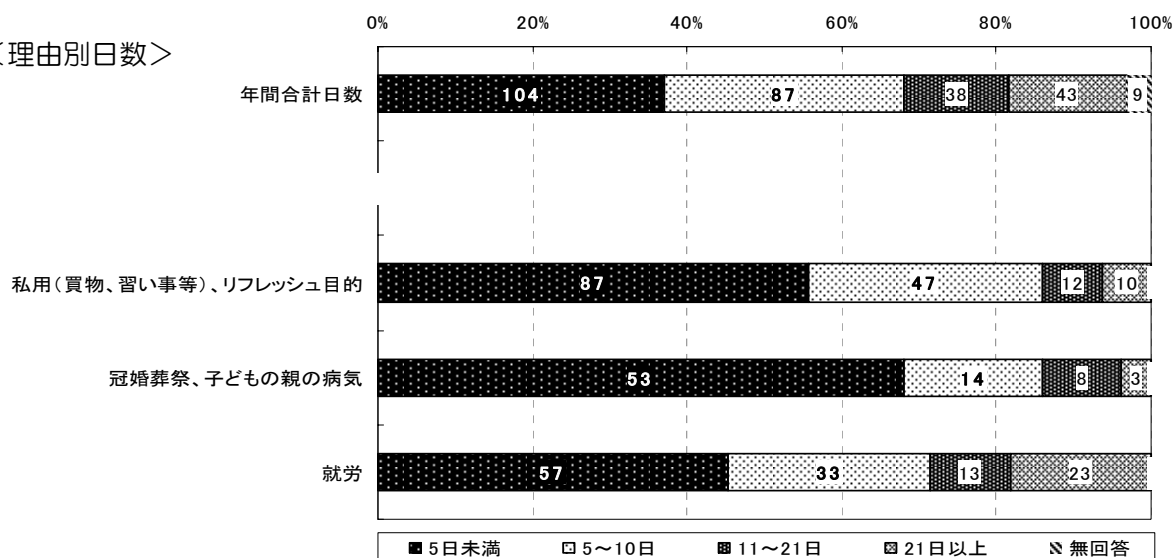


<年間合計日数>



一時預かりを利用したことがある人は24%、その281人の回答者が年間に利用した合計日数は、5日未満が最も多く、次いで5～10日でした。

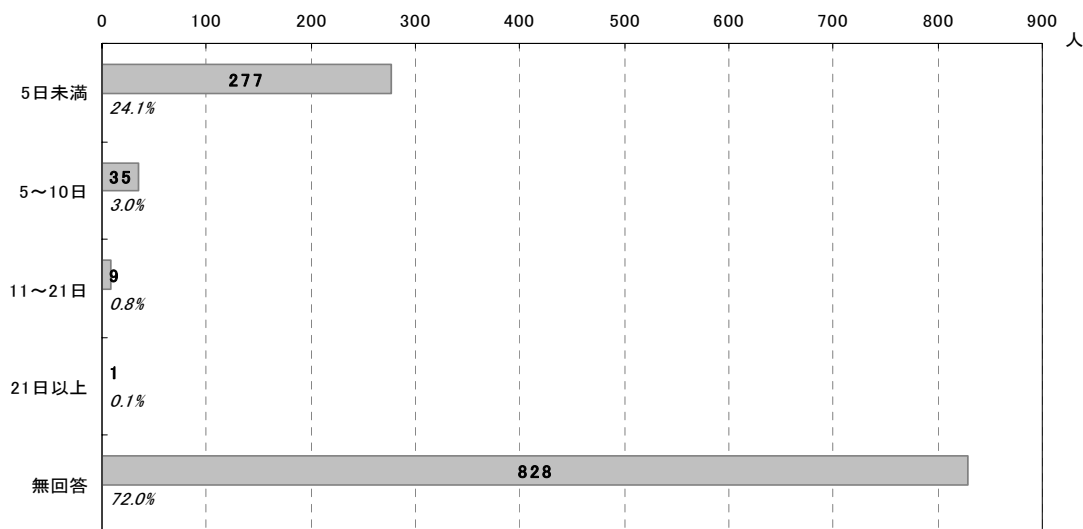
<理由別日数>



一時預かりを利用する理由としては、「冠婚葬祭・親の病気」が最も多く53件(67.9%)、次いで「私用・リフレッシュ」が87件(55.8%)、就労57件(45.2%)でした。

問19 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字を記入し、希望する日にいくつでも○をつけてください。

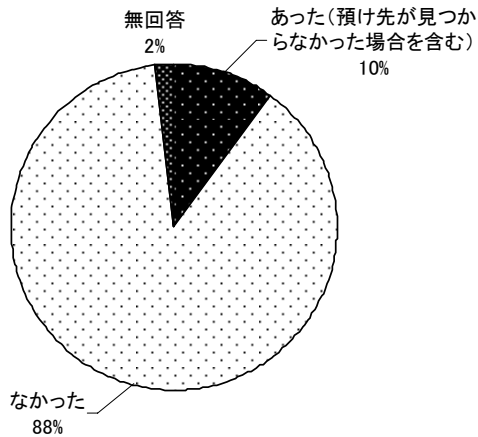
月に 日くらい 1. 平日 2. 土曜日 3. 日・祝日 4. 年末年始その他



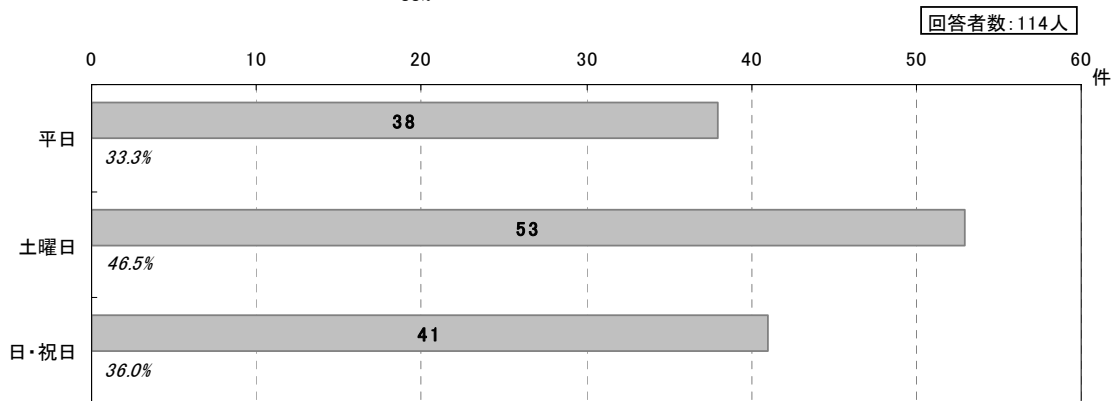
7. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについてお伺いします。

問20 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。「1. あった」を選ばれた方は曜日に○をつけてください。

1. あった(預け先が見つからなかった場合を含む) (平日 土曜 日・祝日) (→ 問20-1.20-2へ)
 2. なかった (→ 問21へ)



<曜日別>



宿泊を伴う一時預かりについては、土曜日の利用が最も多く（48.5%）次いで日曜日（36.0%）となっています。

問20-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

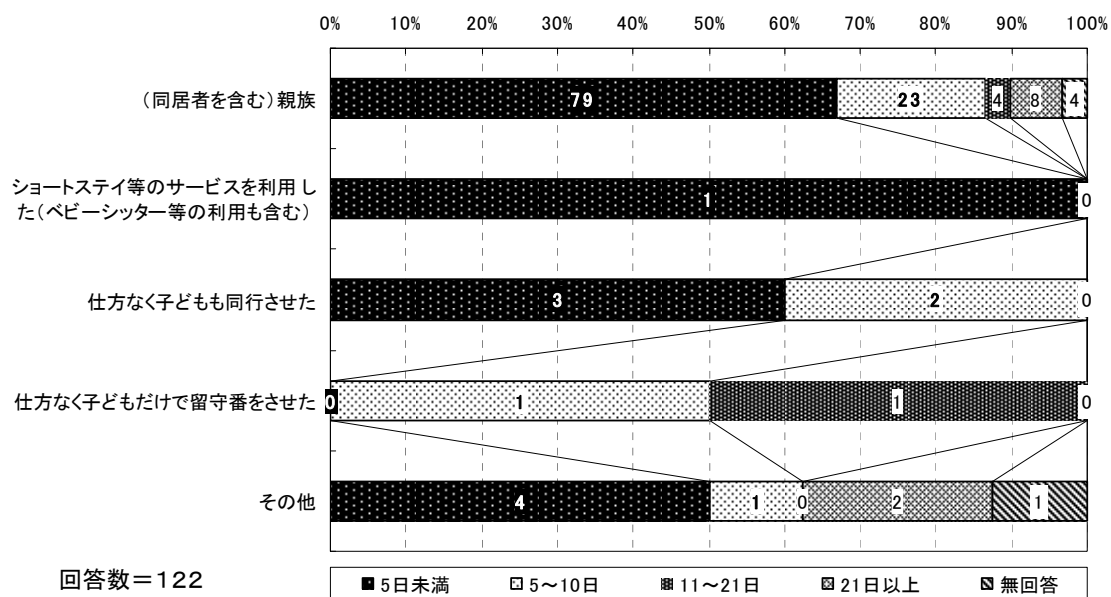
問20-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号二つに○をつけてください。

↓

1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	<input type="text"/>	泊 →	1.非常に困難	2.どちらかというと困難	3.特に困難ではない
-----------------------	----------------------	-----	---------	--------------	------------

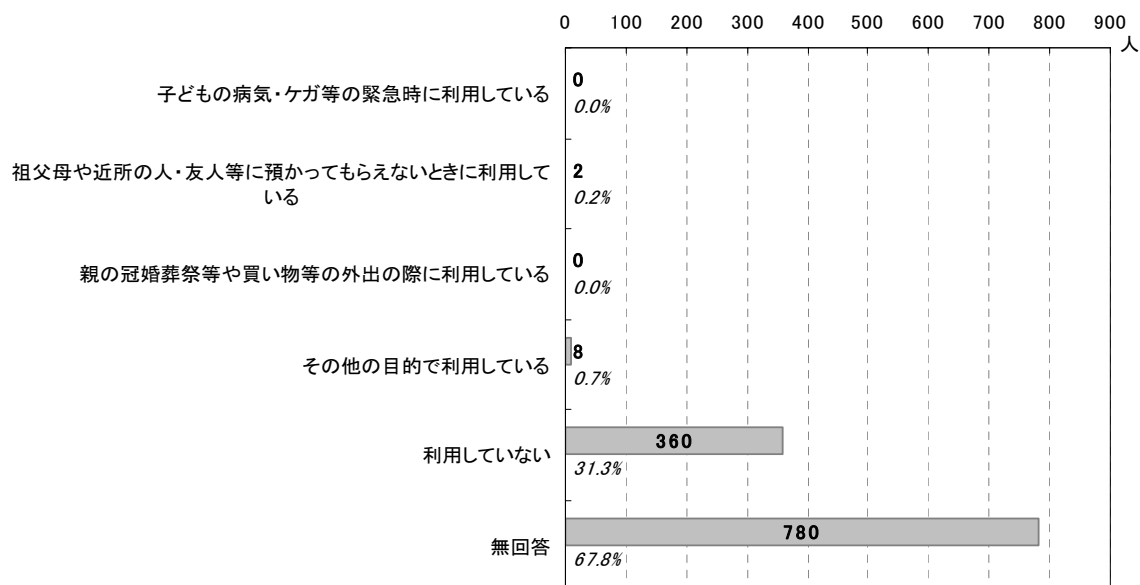
2. ショートステイ等（*下部参照）のサービスを利用した（ベビーシッター等の利用も含む）	<input type="text"/>	泊
3. 仕方なく子どもも同行させた	<input type="text"/>	泊
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	泊
5. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/>	泊

<対処泊数>



8 ベビーシッターを利用している方にお伺いします。

問21 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

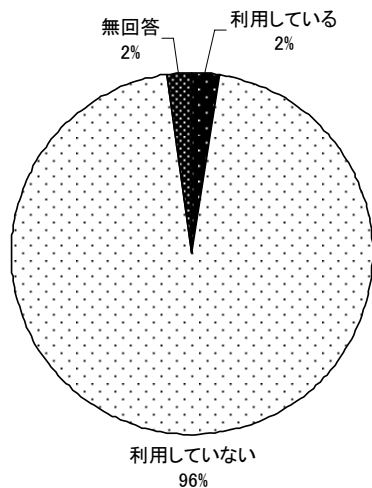


ベビーシッターを利用しているのは、1150人のうち10人でした。

9 すべてのの方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

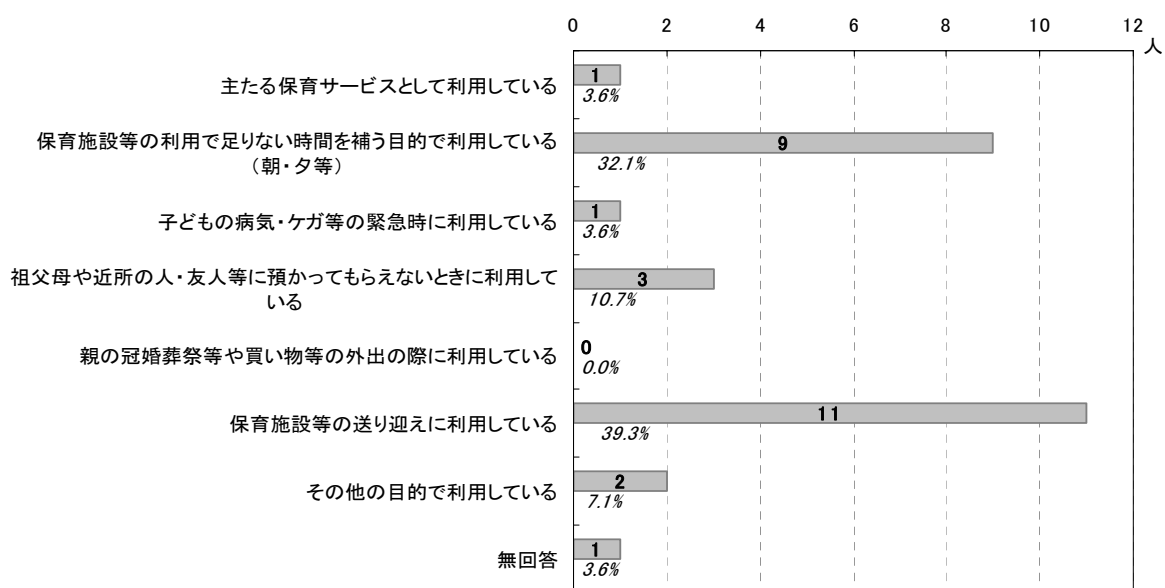
問23 ファミリーサポートセンター（保育園等の送迎や保育など、地域住民による相互援助活動）を利用していますか。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 利用している | (→ 問23-1~23-3へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問23-4へ) |

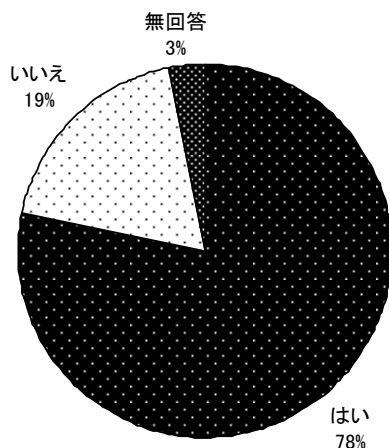


ファミリーサポートを利用しているのは、実数にして 28 人 (2.4%) でした。

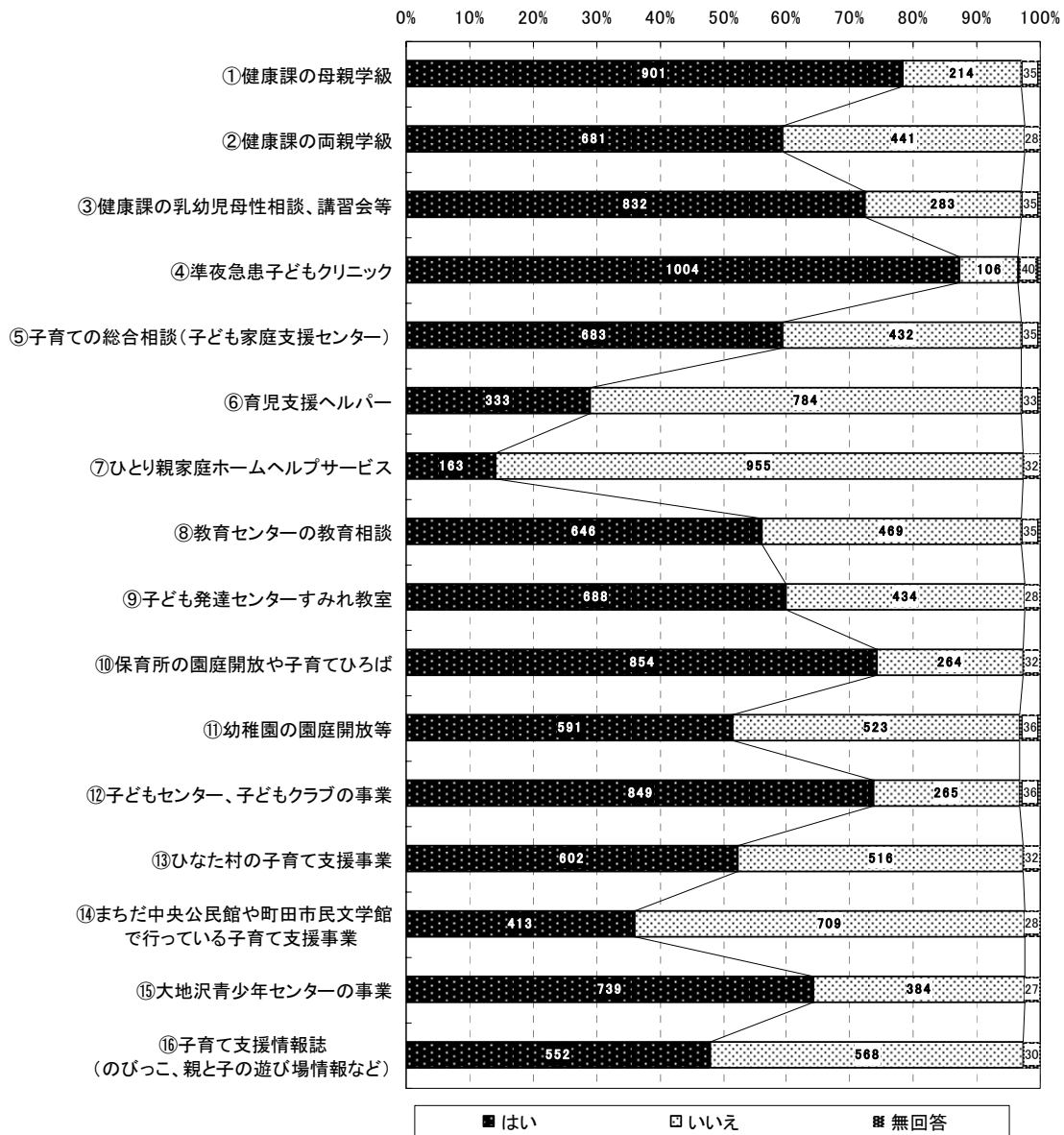
問23-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。



問24 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

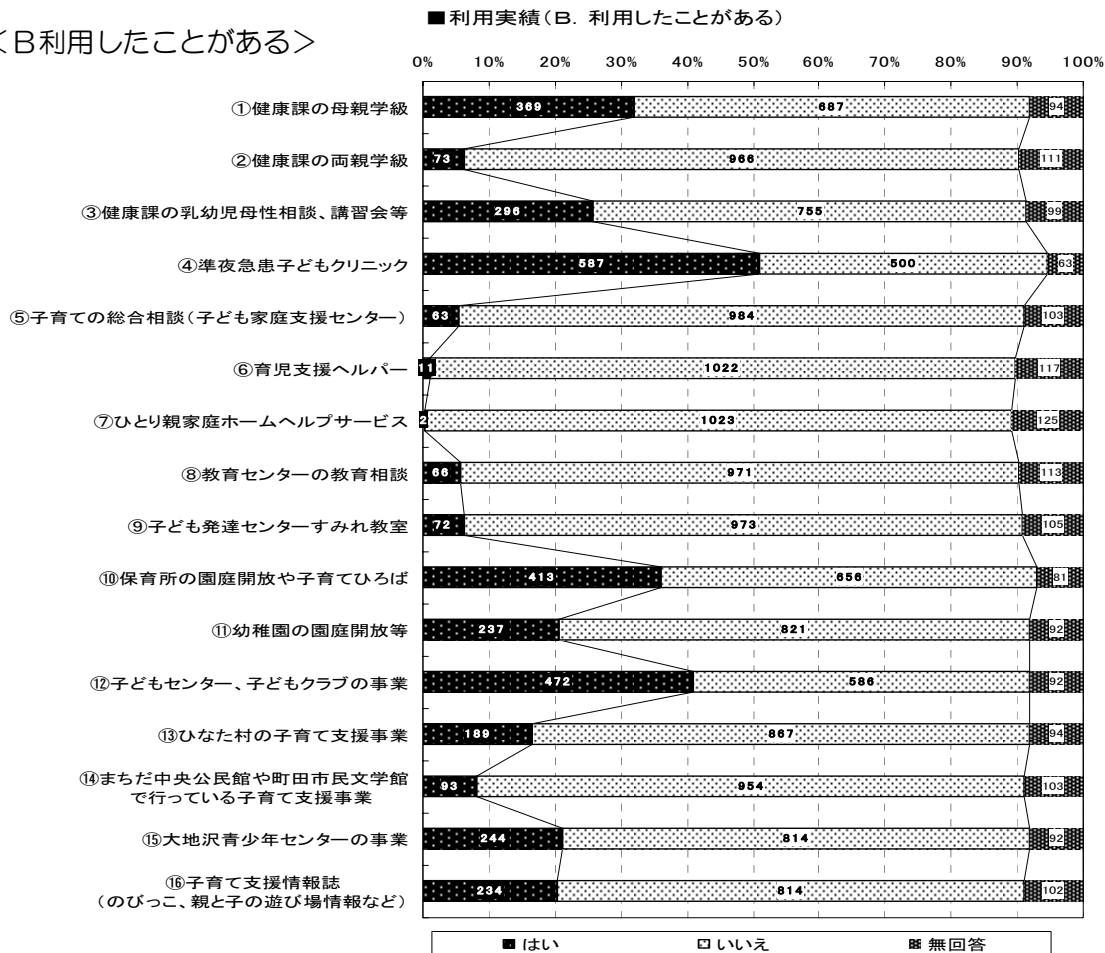


■ 認知度(A. 知っている)

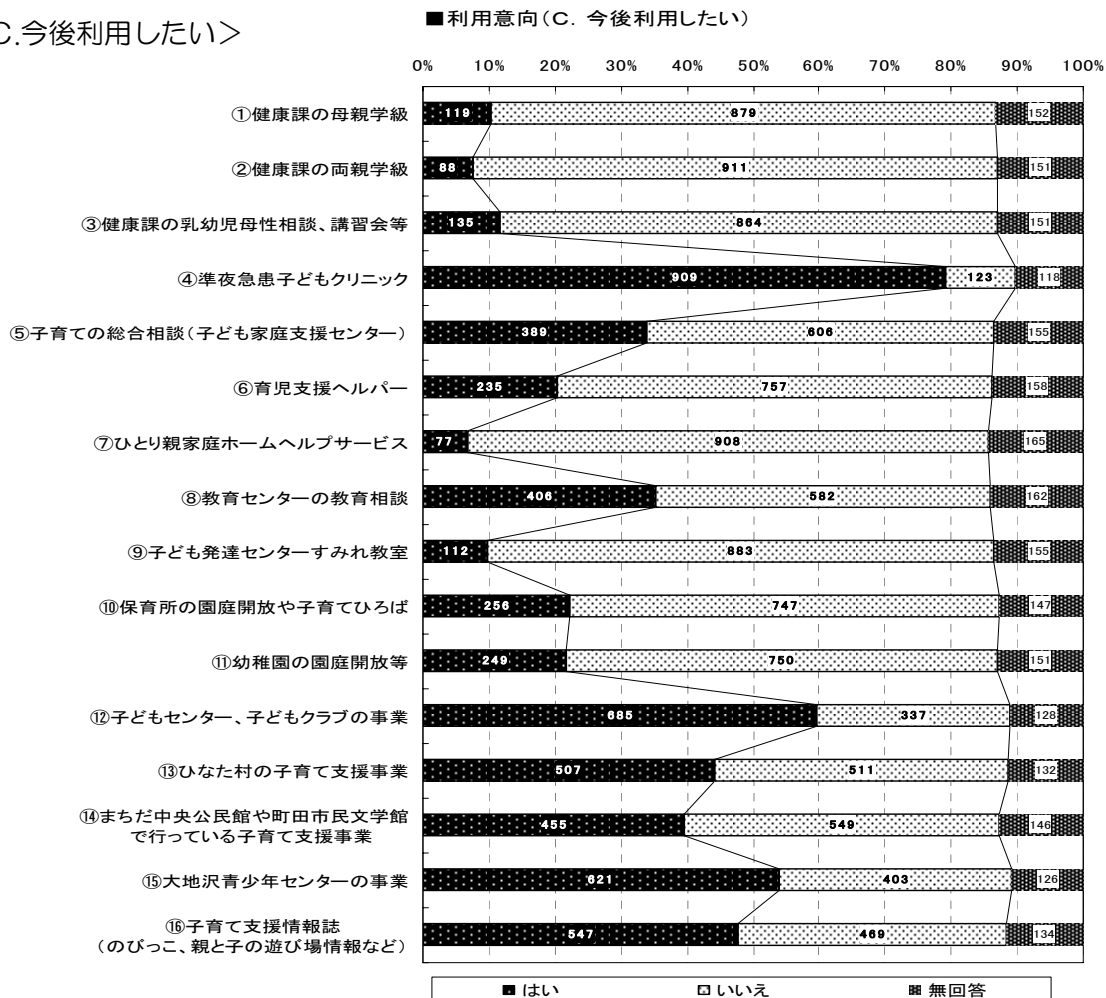


育児支援ヘルパーやひとり親ホームヘルプサービスは、まだ充分認知されているとは言えないようです。母親学級・保育園の園庭開放や子育てひろば・子どもセンターの事業などは約7割の人が知っていますが、幼稚園・まちだ中央公民館などの事業、子育て情報誌については、半数程度のとどまっています。

<B利用したことがある>



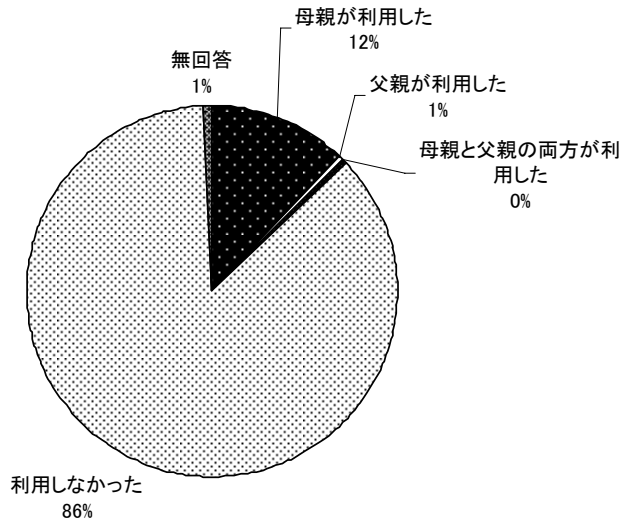
<C.今後利用したい>



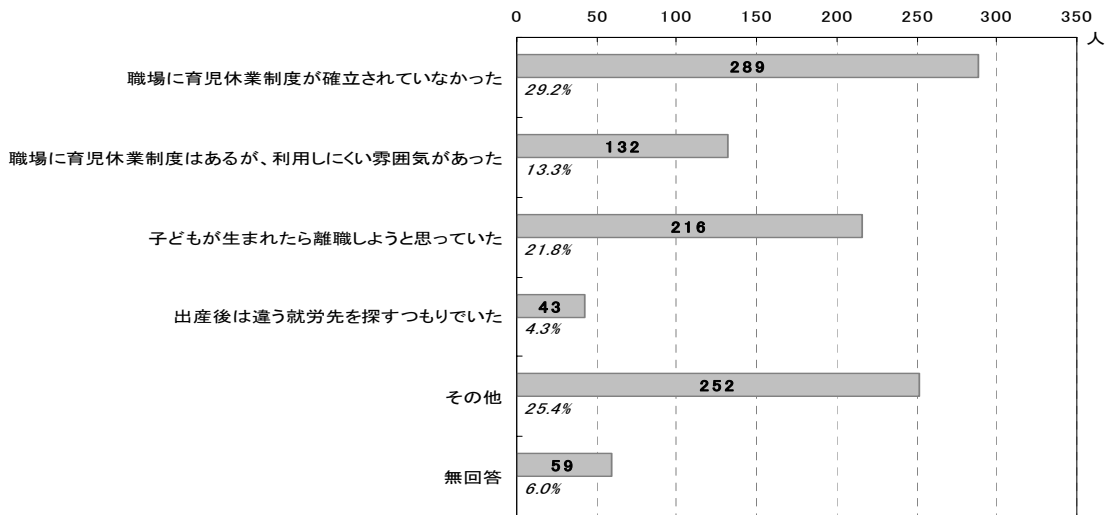
10. すべての方に育児休業制度の利用についてお伺いします。

問25 あて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

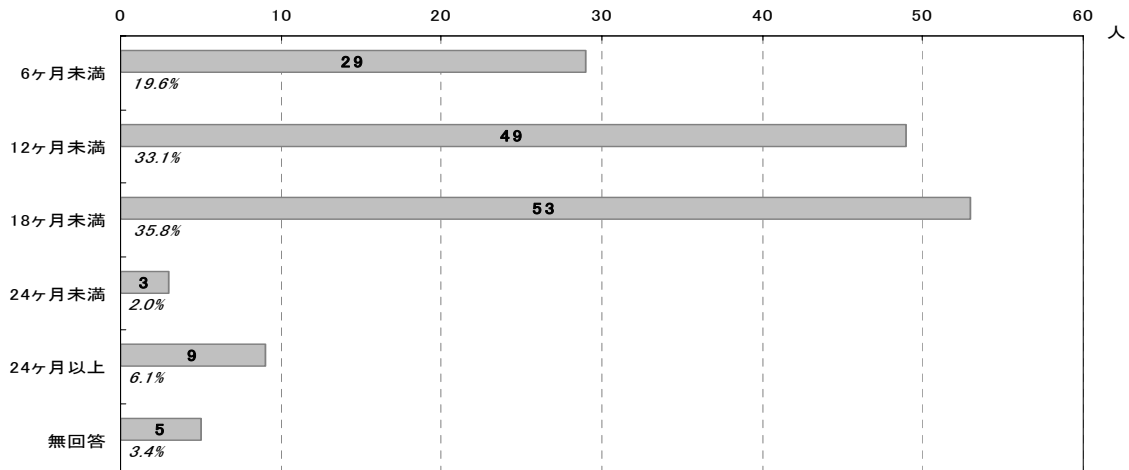
育児休業制度を利用したのは、約13%でした。利用していない人が8割以上ですが、その理由として、「職場に育児休業制度が確立されていなかった」というのが最も多く29.2%、次いで「退職しようと思っていた」「制度はあっても利用しにくい」と続きます。その他の回答が多いので、その内容が把握できないのが残念でした。



問25-1 育児休業制度を取得しなかった理由はどのようなことですか。もっともお考えに近い番号に一つだけ○をつけてください。

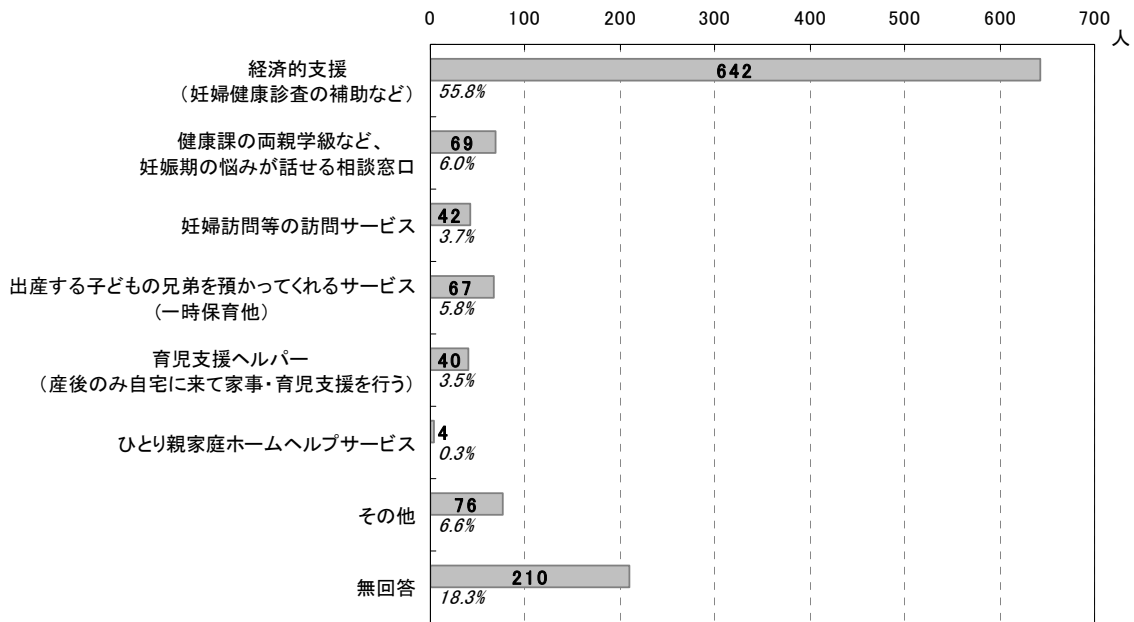


問25-3 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

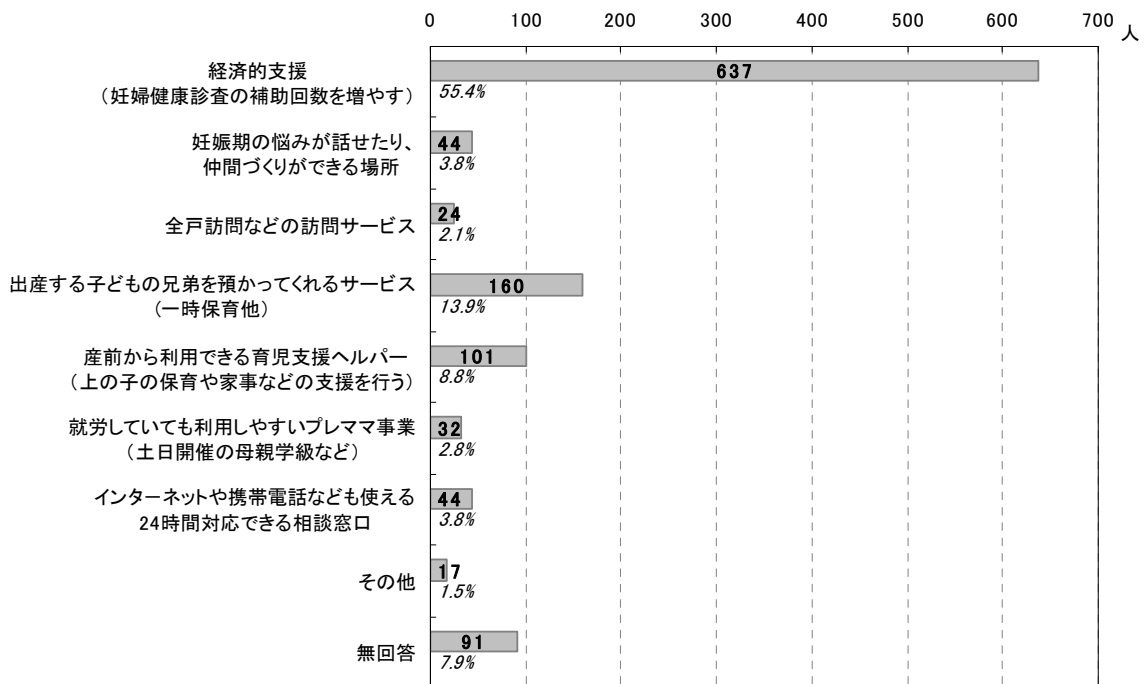


問26 あて名のお子さんの出産を振り返って、産前・産後に「あってよかった」と思われたサービスはどれですか。また、今後あるとよいと思われるサービスはどのようなものですか。
 あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

【出産前後にあってよかったと思われたサービス】



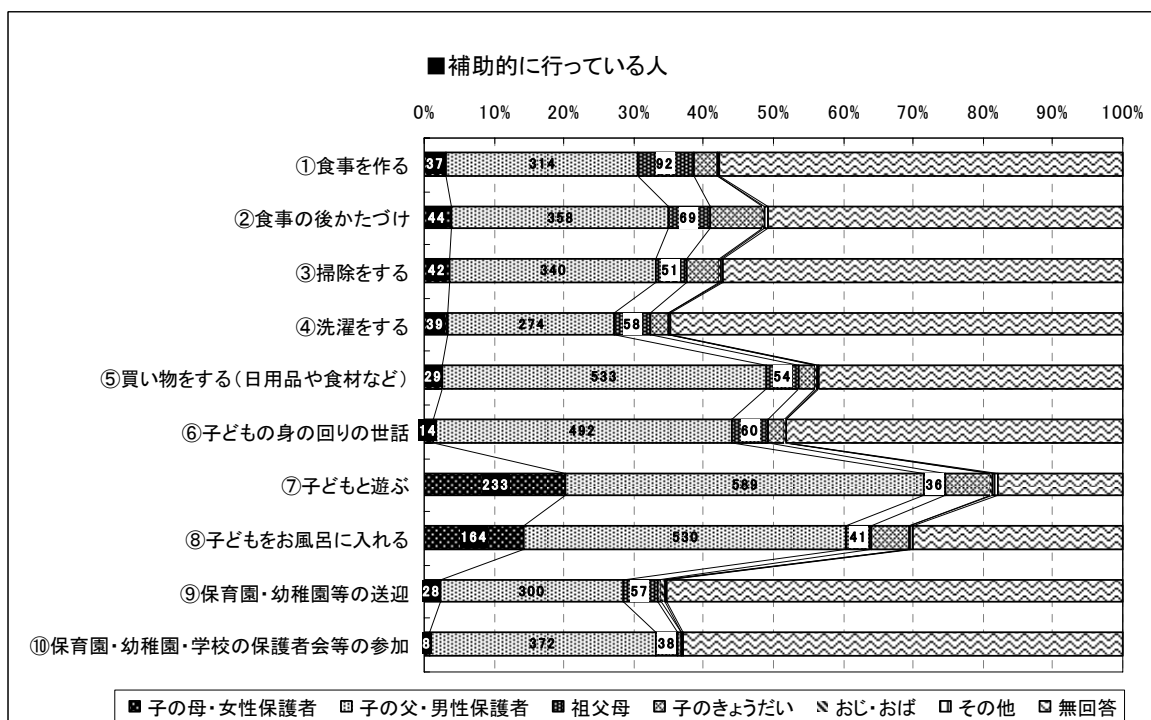
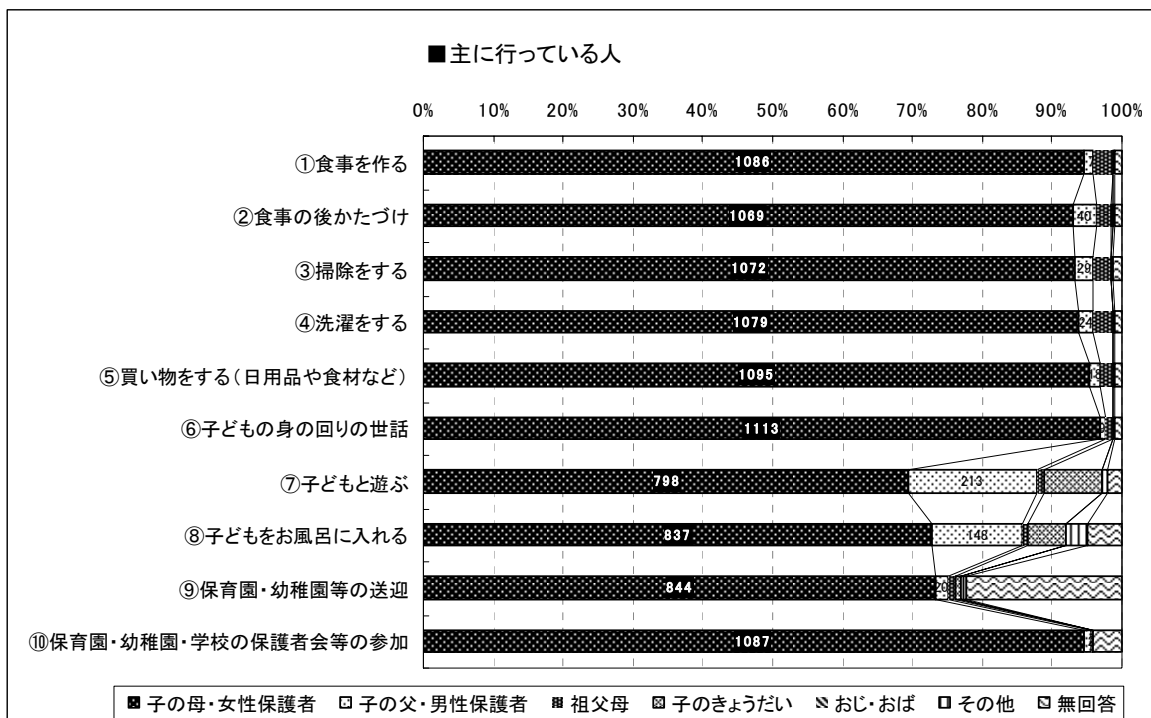
【これから出産する際にあるとよいと思われるサービス】



「出産前にあってよかったと思われたサービス」と「これから出産する際にあるとよいと思われるサービス」は、どちらも圧倒的に「経済的支援」でした。数は少ないですが、次に多かったのが、「兄弟を預かってくれるサービス」です。この状況は、就学前児童の保護者による調査でも同じ結果となりました。

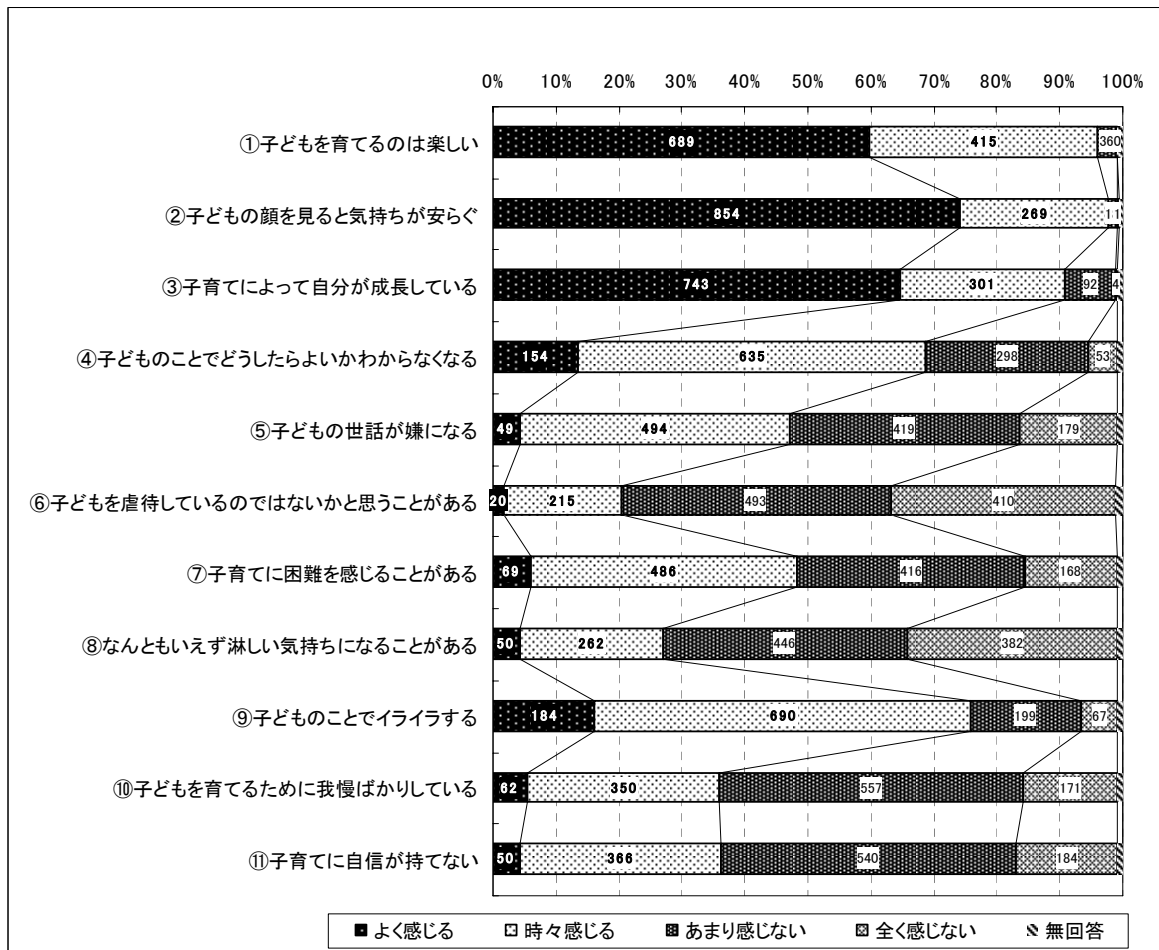
問27 家事や子育てを、主に行っている人やそれを補助する人は誰ですか。

それぞれの項目について、1～5の人の中で主に行っている人に◎、補助的に行っている人に△をつけてください。

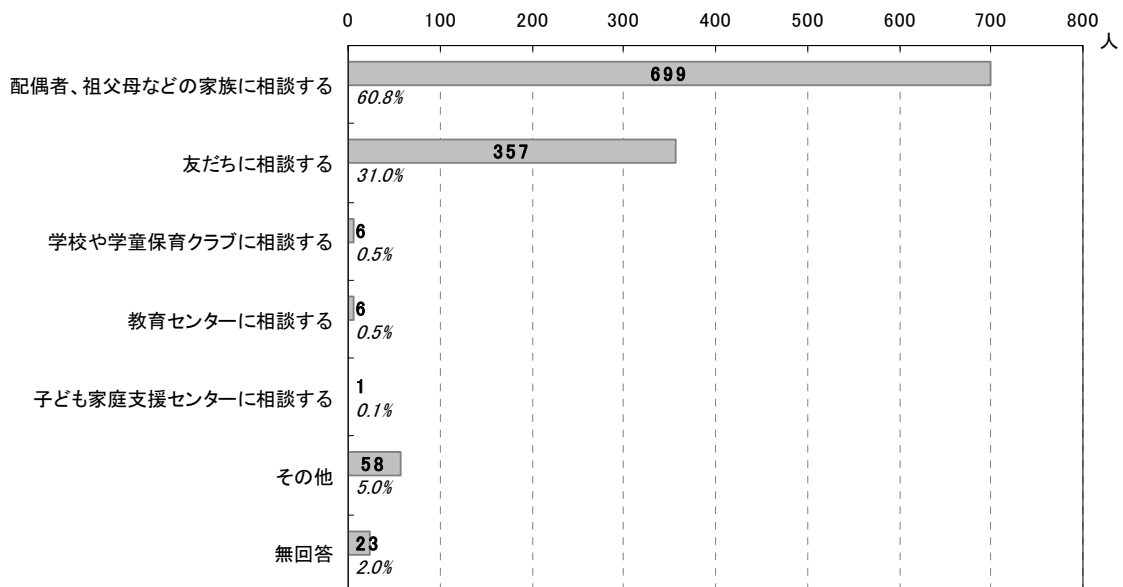


主に行っている人となると断然母親ですが、補助的になると父親や祖父母なども多くなってきます。

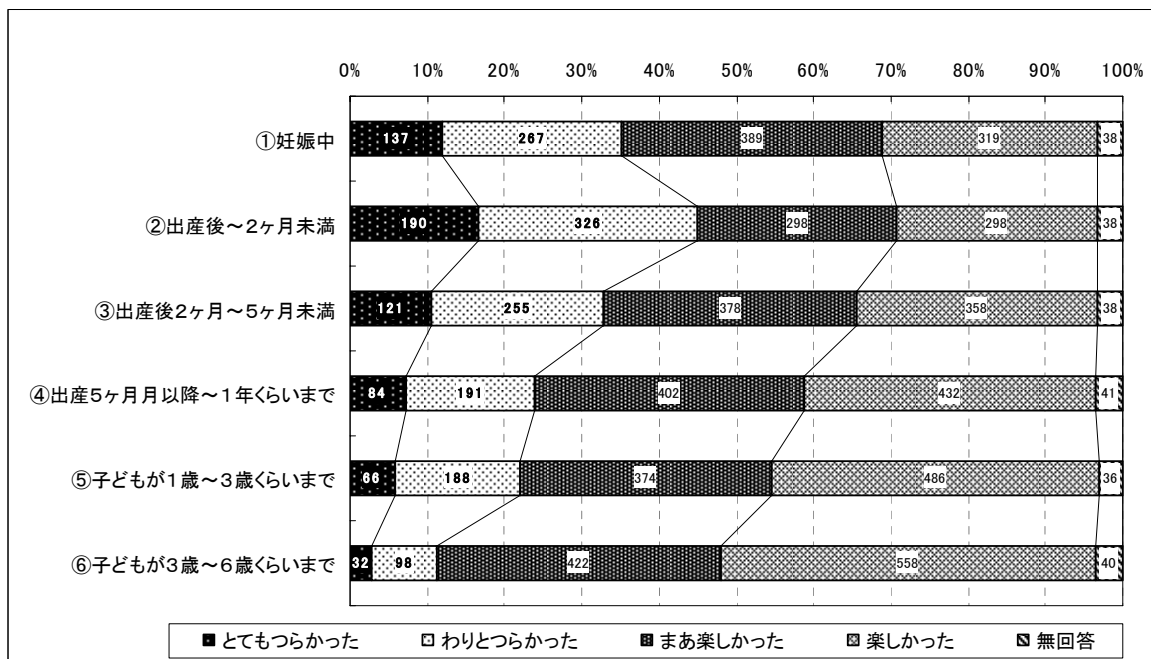
問28 子育ての次のようなことについて、あなたはどのようにお感じですか。次の項目それぞれについてあてはまる番号一つに○をつけてください。



問29 問28のような子育ての不安や悩みを感じたときに、それを解決するためにどのようにしていますか。もっとも多いと思われる番号一つに○をつけてください。

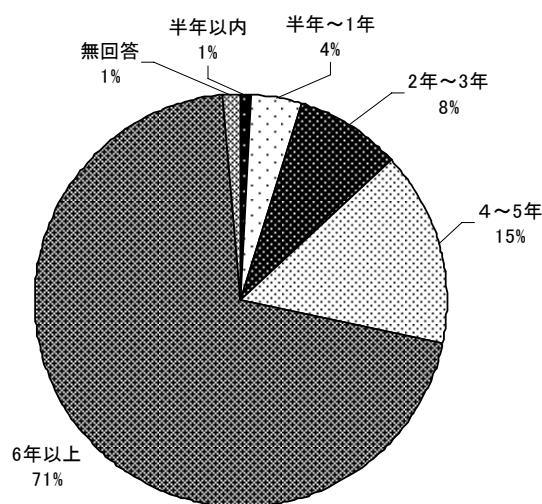


問30 あて名のお子さんを妊娠してからこれまでの時期は、あなたにとってどのような時期でしたか。各時期あてはまる番号一つに○をつけてください。



子育てをつらいと感じるのは、出産後～2ヶ月未満が最も多く、40%以上の方が「つらかった」と答えています。この時期は外出する機会も少なく、母子密着で過ごしているのかもしれませんが。子どもが成長するに従って、「つらかった」よりも「楽しかった」が多くなります。

問31 あて名のお子さんと保護者の方は、町田市に住んで何年になりますか。あてはまる番号一つに○をつけてください。



就学前児童の調査では、「町田に住んで6年以上」と答えた人は27.4%でした。この就学児童の調査では、71%となっています。

問32 「あて名のお子さん」のお父さん、お母さんの年代は次のうちどれですか。あてはまる番号一つに○をつけてください。（平成21年1月1日現在）

